



あらい しょうご 正吾の 愚直な 政策集

あらい正吾は、これからも奈良を
もっと良くするため、
「愚直に政策を実行させていただきたい」
と考えています。



今、知事に必要なことは、課題にただまっすぐ取り組み、
未来の県民に豊かな成果物をお届けすることです。

奈良をもっと良くする夢を叶えたい
「愚直に生きれば、天が助ける」



出馬の気持ち

政治家にとって大事なことは、国や地域が良くなるように、身を尽くして奉仕をする心とひたむきに実行する情熱だと考えてきました。

これまで、幸いにも多くの人達の助けに恵まれ、奈良が良くなるきっかけを作り、良き奈良実現のための手伝いをさせていただいてきたと思っています。

今、奈良には、「輝かしい奈良」実現の屋台骨となる、極めて重要なプロジェクトが眼前に迫ってきています。

「リニア中央新幹線の奈良市附近駅の確定」、五條市に設置する「大規模広域防災拠点の整備」「大和平野中央田園都市構想の実現」「県立医大の移転新設と医大新駅の設置」などです。

このほか、「畝傍山周辺のスポーツ施設の整備」「西和医療センターの移転新築」「まほろば健康パークの整備」「中央卸売市場の再整備」「県域水道一体化」「近鉄大和西大寺駅の高架化と近鉄線の移設」なども、今、まさに動き始めています。

今は、奈良県が見違えるようになる、これらのプロジェクトの成果がはっきり見えるようで、ワクワクする思いで一杯です。

奈良の未来を決める、この大事な正念場のときに、県民の皆様とひとつになって、力を合わせて、輝く奈良実現の総仕上げをさせていただけたらと存じます。

出馬の気持ちを一言で言えば、「愚直に、ひたすら愚直に、輝く奈良実現のお役に立ちたい!」の一念です。

あらい正吾の人となり

生い立ち

わたしは、奈良県大和郡山市に4人兄弟の長男として生まれ、祖父母、両親とともに8人の大家族で暮らしていました。

曾祖父は、明治の後半、生駒郡選出の初めての県会議員を一期努めました。祖父は郡山町会議員を3期努めました。父は政治嫌いで、「選挙には出るな」が口癖でした。

祖父の代より、政治家は井戸堀になるからと、燃料販売、ガソリンスタンドなどの事業を始めましたが、今、家族で事業を継いだ者はいません。

母は聡明で、とても優しい人でしたが、私が参議院議員や奈良県知事になったことは知らずに亡くなってしまいました。

祖母は、いつも「天は見てござる、上見て暮らすな、下見て暮らせ」と呟いていました。

性格

最近では、怒りっぽい、などと言われますが、元は、のんびりおっこの典型的な長男型です。

どこかでムキになる癖もあり、政治家には向いていないと言われることもあります。向く方向を決めたら、どこまでもその方向に歩いてしまいがちで、不器用だと言われることも多いです。優しいところも大いにあるつもりですが、一面頑固なところも充分あり、扱いにくい奴だと思われるのではと心配しています。

しかし、隠し立てはできないたちで、正直なのが取り柄だとも思っています。

志

まじめで、人に奉仕をしようとする人が好きです。

「首長は、まじめに全力を尽くさないと、バチがあたる」といつも思っています。「人良かれ」と願う心が尊いことだと考えています。

愚直という言葉が大事にしています。「愚直に生きれば天が助けてくれる」ものだと信じています。

政治家と愚直は違う極だと思われるかも知れませんが、愚直な政治家がいてもいいのではと思っています。政治家は「世のため、人のために、尽くしつくす」ことが、最も大事だと信じています。

運命

今でも、どうして政治家になったのかと思うときがあります。

運輸省という役所の退官の日、退職辞令を扇千景運輸大臣からいただくために室で待っているときに旧知の二階俊博衆議院議員から電話があり、「君を次の奈良選挙区の参議院選挙に自民党候補として出すから。」ということでした。冗談だと思っていたら数日後に議員会館から呼び出しがあり、旧知の古賀誠自民党幹事長が、親指を立てて「これが君で良いからと言っているからいいね。」と通告がありました。初めての選挙は苦労の連続でしたが、多くの人のお支えがあって勝たせていただきました。

6年後の2回目の参議院選挙は自民党劣勢が予想されましたが、時の奈良県知事・柿本善也様から公舎に一度来なさいと言われて訪問したら、「自分は次の知事選挙に出ないから君が出るように」というお話でした。自民党公認をいただいている身であり、驚いて「古賀先生にご相談させて下さい。」と言って、引き下がり、古賀先生にお伺いすると、案に相違して「知事選に行きなさい。」ということでした。

「国会議員では充分お役に立たなかったのか。」と思いつつ、スゴスゴと引き下がると、古賀先生は後ほど「もっとお添に居たいとも言わないでサッサとくら替えをして」と冗談っぽくおっしゃっていました。

その後、知事を4期もさせていただきました。

このような経緯で知事の立場をいただいたことですので「身を粉にして働かねば」と思っ

おばあちゃんの言葉が心の支え

大家族で家で商売をしていましたので、長男の私はおばあちゃんの添にいることが多くありました。おばあちゃんは優しく、信心深い人でした。

「あなたが困った時は、奈良の観音様に向かって手を合わせてお祈りしなさい」と言っていました。だいぶ後で知ったことですが、私の誕生日、1月18日は、初観音の日だそうです。また、独り言のように「天は見てござる。」と呟いていました。

東大寺の二月堂や興福寺の南円堂、一言観音様には、子どもの頃、よく連れて行ってもらいました。これまでも、また今でも、このようなおばあちゃんの手が心の支えになっています。

大学入試は浪人してよかった。

同じ高校から7人が東大を受験しましたが、私だけが落ちました。初めての大学受験で、初めての浪人生なので家中途方にくれましたが、同じ町の天野さんという方が自分達家族も東京へ引っ越すから、東京の予備校へ行きなさいと誘っていただきました。その後、天野様ご家族には長い間本当にお世話になりました。

東京の予備校の勉強は本当に役に立ちました。また、それまでひ弱なところもあったと思いますが、東京での独り暮らしで、多少の根性も身につけられたようです。次の年の受験も東大一本でしたが無事入学でき、東京で充実した浪人生活を送れて、本当にありがたかったと思います。

浪人してよかったことがもうひとつあります。浪人した頃、自分は運がないのでは、と悩んで落ちこんでいました。その時、思い至ったのは、「世の中には、自分よりよくできて人の役に立っている人がいる、そのような人のために自分が役に立つように努めれば、それもよいのではないか」ということです。

子どもの頃読んだ、ジャックと豆の木のお話もそのようなことだったのでは、と思ひ浮かびました。それからずっと、「まず、人よかれ、と思って生きよう!」としてきました。

この気持ちは、今までずっと持ち続けてきた、一生の宝です。

米国留学では、目からうろこが落ちました。

人事院から派遣された米国留学では、今のアメリカ大統領バイデンさんと同じシラキュース大学に同じ時期に学びました。残念ながら学部が違い、バイデンさんとは知り合いにはなれませんでした。

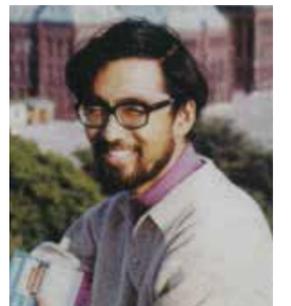
学科の勉強も役に立つものでしたが、一番インパクトがあったのは同じクラスの若いアメリカ人の言葉でした。

「君は人にナイスにし過ぎる!」

彼の言葉の意味は、「あまり、周りに気を使い過ぎないで自分らしく振舞ったほうが良いよ」「Be yourself!」ということでした。

奈良では「周りの人に好かれる人になれ!」と教えられてきたので、人生哲学の大転換になりました。

今では、行き過ぎて、「もう少し周りに気を使った方が良いのでは」と言われているような気もしますが。



あらい正吾の愚直な政策

新谷寅三郎参議院議員との出会い

新谷寅三郎様は奈良県橿原市八木町出身の参議院議員でした。

大学4年生の就職活動時に、前述の天野様から「奈良県出身の新谷先生も親切な人だと聞いているから、一度挨拶に行っといたら」とのアドバイスを聞き、参議院会館入口で面会申込書を書き挨拶に伺いました。

秘書の小宮行子様丁寧に扱っていただきました。2度目の訪問の時に公務員試験の成績を持っていくと、運輸省の前身の通信省出身の新谷先生は「この成績なら、運輸省に行けよ」とおっしゃって、その場で運輸省の官房長に電話をされ、直ぐに訪問することになりました。簡単な面接の後、帰る時には、人事課長から「採るから来なさい」と言われました。戸惑いながら参議院会館に報告に戻ると、新谷先生からは、「運輸省が採ると言ってるから行きなさい」と言われました。

希望の省ではなかったのですが、多少鎮んだ気持ちでしたが、結局運輸省に入省しました。しかし結果オーライで、生涯楽しく仕事をさせていただいた上に、最後は海上保安庁長官までさせていただきました。

その後も、新谷先生とのご縁は続き、結婚式の仲人までしていただいた上に、今の奈良県知事の仕事にも大きく関係するご因縁がございます。どういふことかと申し上げますと、リニア中央新幹線に「奈良市附近駅」が設置される根拠となっているのは、49年前に策定された「中央新幹線基本計画」の中に、運輸大臣告示で途中経由地として、甲府市付近とともに奈良市付近と記載されているからですが、その時の運輸大臣が新谷寅三郎様なのです。

49年前に、奈良県出身の新谷運輸大臣が投げられた「奈良市附近駅」というボールが、50年ぶりに奈良に落下してくる感じです。

リニア中央新幹線「奈良市附近駅」が無事に設置できることになればと心から願っています。



ワクワクするような「輝かしい奈良」が、目の前に広がろうとしています。 P1
脱ベッドタウンが進む奈良県では、様々なプロジェクトが芽を出し、花を咲かせつつあります。 P2

I あらい正吾は愚直に、奈良県の発展のみを願い、16年間まじめに県政にとり組んできました。

- 1.奈良県の地域医療が格段に良くなりました。 P3-4
- 2.経済が活性化し、脱ベッドタウンが進みました。 P5-6
- 3.観光を支える基本となる施設の整備が進みました。 P7-8
- 4.地域の憩いの場となる拠点を整備してきました。 P9-10
- 5.女性の活躍や子育て支援、教育にも力を入れてやってきました。 P11
- 6.「福祉の奈良モデル」の構築に向けた取組が進みました。 P12
- 7.農業の振興が進み、森林環境管理制度ができました。 P13
- 8.幹線道路の整備が進みました。 P14
- 9.災害対応に尽力してきました。 P15
- 10.財政の状況が良くなりました。 P16

II 成果の実現が間近に見えてきているもの

- 1.まほろば健康パークの拡張 P17
- 2.中央卸売市場の再整備 P18
- 3.中町「道の駅」 P18
- 4.平城宮跡の歴史体験学習館 P19
- 5.医大新キャンパス P19
- 6.県域水道一体化 P20
- 7.みつえ高原牧場 P20
- 8.明日香・藤原世界遺産登録 P21
- 9.上質な新ホテル P21
- 10.近鉄奈良駅西口広場 P22
- 11.県立文化会館を音楽の館に P22
- 12.京奈和自動車道橿原JCT P22
- 13.奈良県独自のユニークな条例の制定 P23~28

III これからの成果・実現が期待されるものも、たくさんあります。

- 1.リニア中央新幹線の「奈良市附近駅」位置の確定 P29-30
- 2.大規模防災拠点整備にリニアの発生土を活用 P31
- 3.リニアの整備効果を最大限活用(鉄道との結節性・関西国際空港接続線等) P31
- 4.「大規模広域防災拠点」の整備 P32
- 5.「大和平野中央田園都市構想」の推進 P33-34
- 6.県立大学における理工系人材の育成 P35
- 7.畝傍山周辺プロジェクト P36
- 8.コロナ対策 P37
- 9.子育て家庭への支援と就学前児童のはぐくみ P38
- 10.女性の幸せ応援 P38
- 11.健康長寿日本一を目指します P39
- 12.医療、包括ケア、健康推進、福祉を一体的に推進します P39
- 13.実学、インターンシップを重視して教育を充実します P40
- 14.県の特性を生かした文化の振興 P41
- 15.南部・東部の振興 P42
- 16.大和西大寺駅の高架化と近鉄奈良線の移設の推進 P43
- 17.(仮称)奈良ICへのアクセス整備と交通結節点機能の強化 P44
- 18.近鉄郡山駅周辺のまちづくり P44
- 19.西和医療センターの移転・再整備 P45
- 20.広域道路ネットワーク整備の加速 P46

ワクワクするような「輝かしい奈良」が、目の前に広がろうとしています。



※現時点における県の想定であり、変更の可能性があります。

脱ベッドタウンが進む奈良県では、様々なプロジェクトが芽を出し、花を咲かせつつあります。



I あらい正吾は愚直に、奈良県の発展のみを願い、16年間まじめに県政にとり組んできました。

これまで、国や地元の関係者の方々の絶大なご支援と、県庁職員の獅子奮迅の働きによって、いくつもの成果が出てまいりました。

1. 奈良県の地域医療が格段に良くなりました。

1 平成30年に、病床540床の奈良県総合医療センターが、奈良市内に移転開院しました。

「断らない病院」として救急医療が充実し、脳神経外科、心臓外科、がん治療などの高度医療が格段に良くなりました。



奈良県総合医療センター

2 「南和の医療は南和で守る」を基本理念として、南和地域の公立3病院を、急性期・回復期を担う「南奈良総合医療センター」、回復期・慢性期を担う「吉野病院」と「五條病院」に再編整備しました。

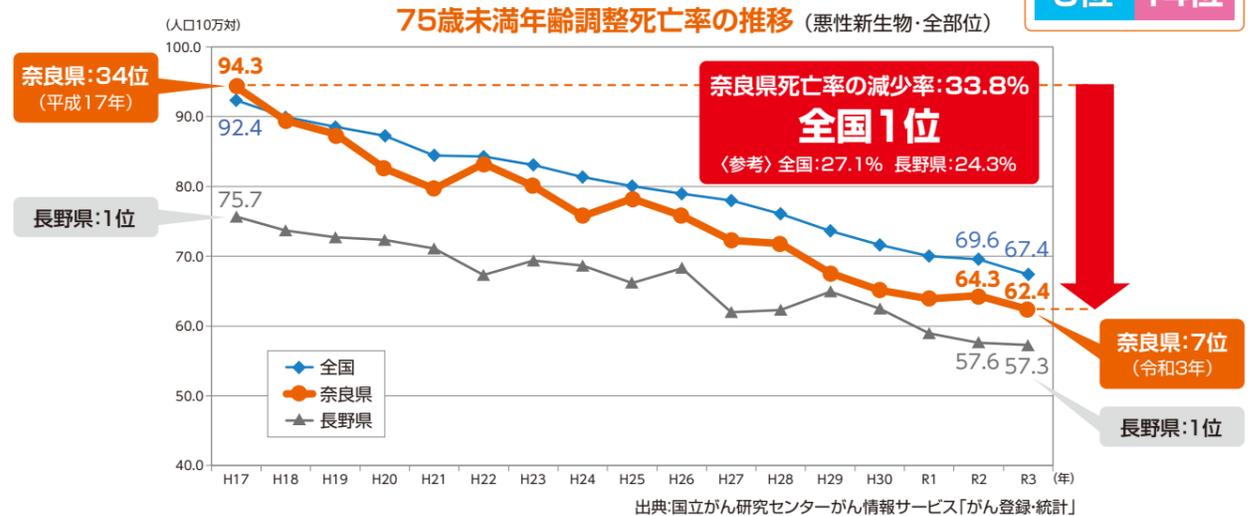
南和地区12市町村とともに、県が構成員として参加する全国でも珍しい一部事務組合で3病院の運営を行っています。



南奈良総合医療センター

3 がん死亡率がこの16年間で大幅に改善しました。

この間の死亡率の減少(33.8%)は全国一です。

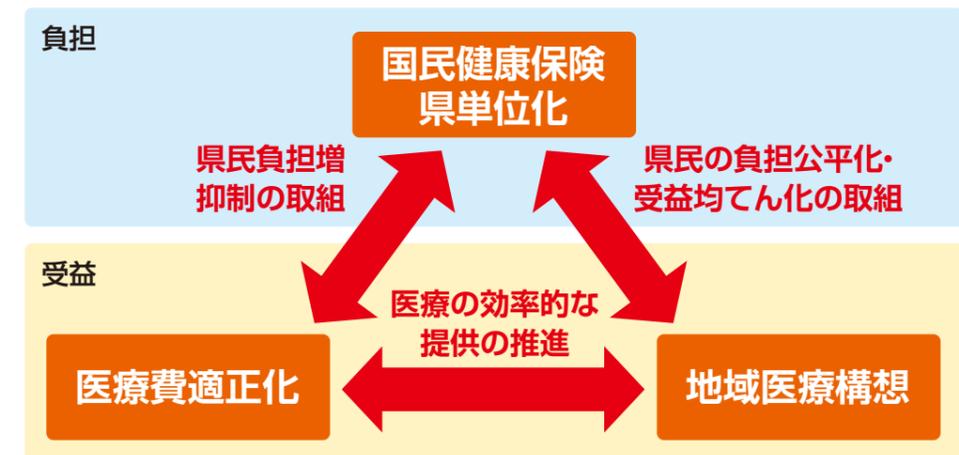


4 健康寿命が大きく伸びました。

男性3位 女性21位(平均寿命は男性3位、女性10位です)

65歳平均自立期間 (令和3年)	男性	全国3位	18.95年 (平成23年比 +1.10年)
	女性	全国21位	21.46年 (平成23年比 +0.95年)

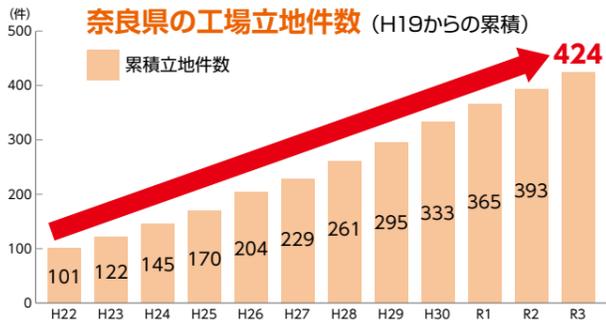
5 国民健康保険の県営化、医療費適正化及び地域医療構想の取組を一体的に推進しています。



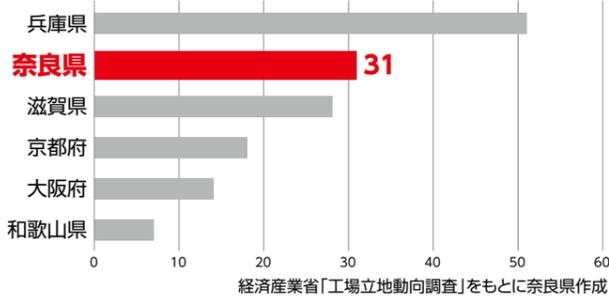
2. 経済が活性化し、脱ベッドタウンが進みました。

1 工場立地先に奈良県が選ばれる時代になってきました。

過去15年の工場立地件数 424件



近畿の工場立地件数 R3年 近畿:2位 全国:9位



2 過去10年間の奈良県への本社転入超過件数(73件)は全国7位です。

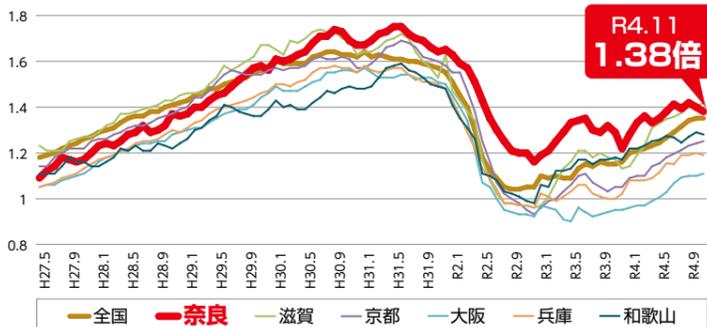
本社の転入・転出件数 (平成24年~令和3年累計)

順位	都道府県	転入件数	転出件数	転入-転出	転入÷転出
1	神奈川県	2,550	1,929	621	1.32
2	埼玉県	2,148	1,557	591	1.38
3	千葉県	1,457	1,160	297	1.26
4	兵庫県	946	786	160	1.20
5	茨城県	405	277	128	1.46
6	福岡県	532	458	74	1.16
7	奈良県	267	194	73	1.38
8	長野県	178	123	55	1.45
45	北海道	151	250	△99	0.60
46	大阪府	1,550	2,111	△561	0.73
47	東京都	5,802	6,953	△1,151	0.83

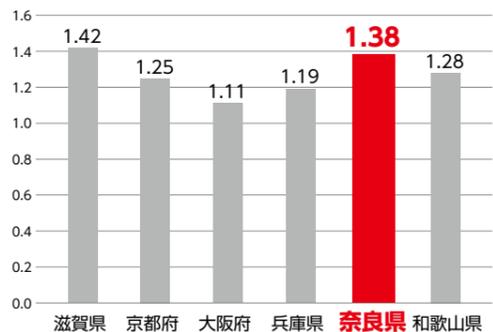
帝国データバンク公表資料を元に奈良県作成

3 奈良県内でより多くの人材が求められるようになりました。就業地別有効求人倍率は近年高い水準で推移しています。

「就業地別」有効求人倍率 (季節調整値)



R4.11 就業地別有効求人倍率 (季節調整値)



4 良い人が集まる良い職場が奈良にできてきました。全国的にユニークな地域雇用を促進する条例をつくりました。

女性の就業率の伸び率は全国1位です。

伸び率順位	都道府県	女性の就業率		
		R2	H27	伸び (R2-H27)
1	奈良県	70.6	63.6	7.0
2	大阪府	72.4	65.9	6.5
3	兵庫県	72.2	66.0	6.2
4	沖縄県	75.0	69.0	6.0
5	神奈川県	72.6	66.6	6.0

総務省「国勢調査」

女性の就業率の伸び率 **全国1位**

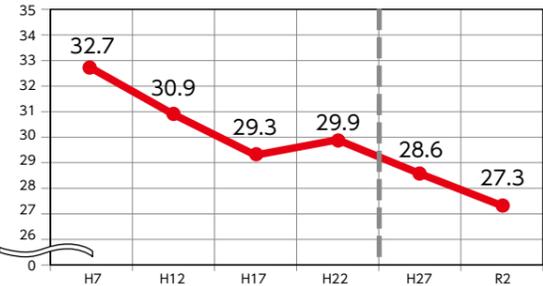
奈良県の障害者雇用率はトップクラスです。



条例は、①地域における多様な人材の育成、②地域における就労の促進、③地域における再就職の支援を3本柱としています。

5 近年、県外就業率が低下(県内就業率が向上)、脱ベッドタウンが進んできました。

奈良県 県外就業率 (平成7年~令和2年)



	H7	H12	H17	H22	H27	R2
県外就業率(%)	32.7	30.9	29.3	29.9	28.6	27.3
全国順位	1位			2位		3位

※H27及びR2は、不詳補完値による

過去5年間の県外就業率の低下は全国1位です。

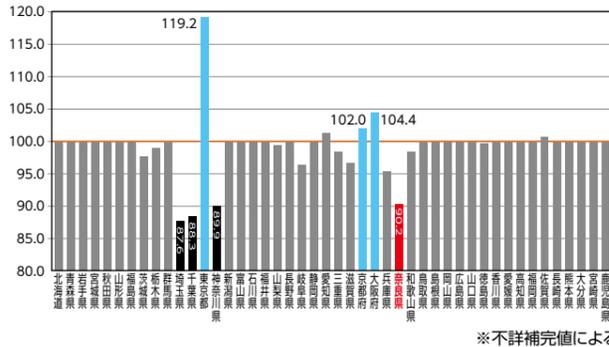
全国及び上位5県 県外就業率のポイント差 (平成27年、令和2年) 単位:(%)

	県外就業率		
	H27(A)	R2(B)	(B)-(A)
奈良県	28.6	27.3	△1.3
神奈川県	25.8	24.9	△0.9
千葉県	28.3	27.4	△0.8
埼玉県	29.9	29.3	△0.6
兵庫県	14.6	14.1	△0.6
※全国	9.2	8.9	△0.2

※不詳補完値による

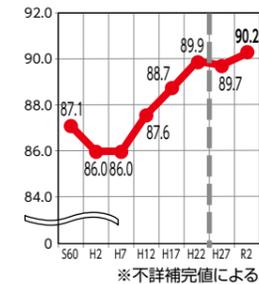
6 昼夜間人口比率(低いとベッドタウン性が強い)が上昇し、脱ベッドタウンが進んできました。

都道府県別 昼夜間人口比率 (令和2年)



※不詳補完値による

奈良県 昼夜間人口比率 (昭和60年~令和2年)



※不詳補完値による

上位5県 昼夜間人口比率のポイント差 (平成27年、令和2年)

	昼夜間人口比率		
	H27(A)	R2(B)	(B)-(A)
奈良県	89.7	90.2	0.5
岐阜県	96.0	96.3	0.4
佐賀県	100.5	100.7	0.2
茨城県	97.4	97.6	0.2
和歌山県	98.2	98.4	0.2

※不詳補完値による

3. 観光を支える基本となる施設の整備が進みました。

1 奈良での滞在時間を伸ばすホテルの整備が進みました。



令和2年7月 OPEN JWマリオット・ホテル奈良



令和2年6月 OPEN ふふ奈良

2 奈良県コンベンションセンターが令和2年4月にオープンしました。

天平広場で賑わい創出



国際会議で観光振興



全国知事会議を開催



全国知事会議(奈良県初)

夏季 イルミネーション等装飾
スケート・フードイベント

3 奈良公園バスターミナルを平成31年に設置し、渋滞緩和とアメニティ向上を図りました。



奈良公園バスターミナル

4 奈良県の魅力発信と誘客促進をより一層強化するため、「奈良まほろば館」を令和3年8月に東京都港区新橋に移転しました。

令和4年11月
ミシュラン
一つ星 獲得



まほろば館(正面エントランス)



Restaurant & Bar「TOKI」

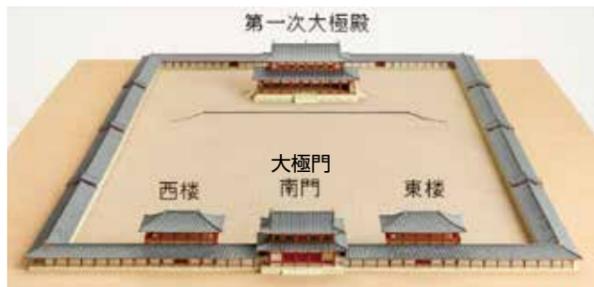


奈良県ブランドショップ「奈良まほろば館」

4. 地域の憩いの場となる拠点を整備してきました。

1 平城宮跡歴史公園事業(国営公園事業100%国庫補助)、県営公園事業(50%国庫補助)を着々と進めてきました。

国営公園事業



第一次大極殿院建造物復原整備イメージ



国土交通省提供

県営公園事業



朱雀大路西側地区
平成30年3月開園

だいこくもん
大極門(南門) 令和4年3月完成
東楼 令和4年度復原整備工事着手

2 馬見丘陵公園を誇らしい花の公園として整備してきました。



チューリップフェア(4月)



花菖蒲まつり(6月)



ひまわりウィーク(7~8月)



フラワーフェスタ(10月)

3 なら歴史芸術文化村は、令和4年3月の開村以来、連日、多くの方に来訪いただいています。



なら歴史芸術文化村



学芸員による解説ツアー



体験プログラム



こども参加型音楽コンサート

4 NAFIC(なら食と農の魅力創造国際大学校)が平成28年4月に開校、NAFIC附属セミナーハウスが令和4年9月にオープンしました。



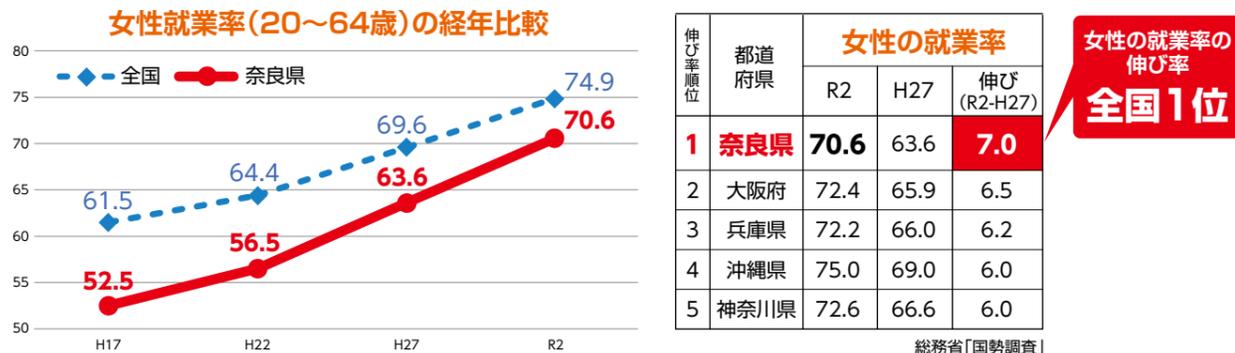
NAFIC



NAFIC附属セミナーハウス
~ホテル奈良さくらの郷~

5. 女性の活躍や子育て支援、教育にも力を入れてやってきました。

1 奈良県女性の就業率は、順調に伸びています。また、奈良県における管理職への女性登用は確実に進んでいます。



県内企業における、課長相当職以上の女性管理職の割合は、平均13.1%で、過去最高となりました。(全国2位、近畿1位)
帝国データバンク調査(R4.7)による

2 子どものはぐくみ活動の充実に取り組んでいます。

令和4年に「奈良っ子はぐくみ条例」を施行しました。

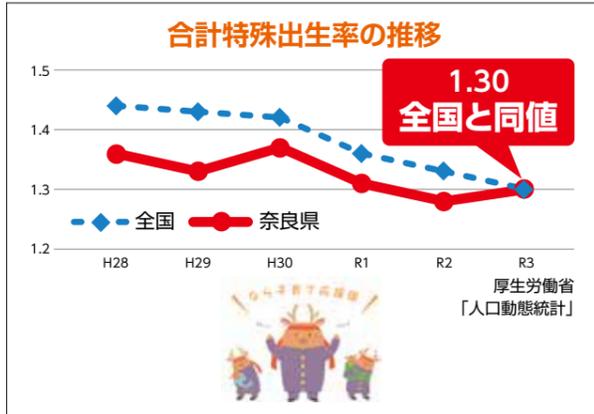
●自尊心と利他心を幼少のころはぐくむのが基本

施策展開の4つの柱

1. 子どもの健やかなのはぐくみ
2. 経済的に困窮している子育て家庭に対する支援
3. 困難な状況にある子どもに対する支援
4. 子育て家庭に対する包括的な支援体制



合計特殊出生率が上昇しています。



3 奈良県教育振興大綱に沿った取組を推進しています。

●奈良県教育が目指す方向性

本人のための教育 一人ひとりの「学ぶ力」「生きる力」をはぐくむ本人のための教育を行います。



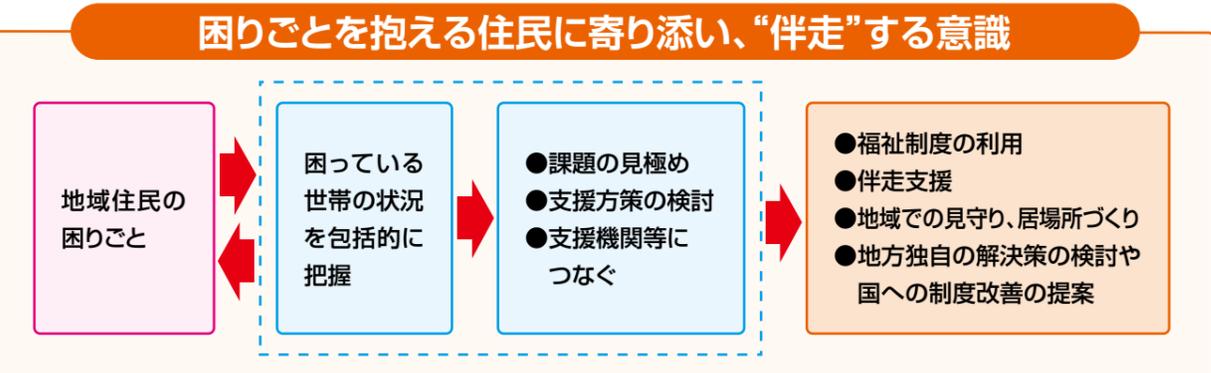
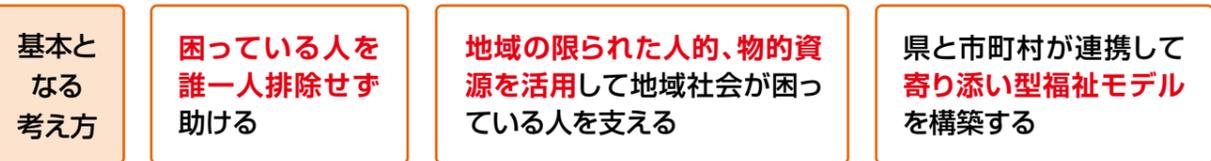
奈良県総合教育会議



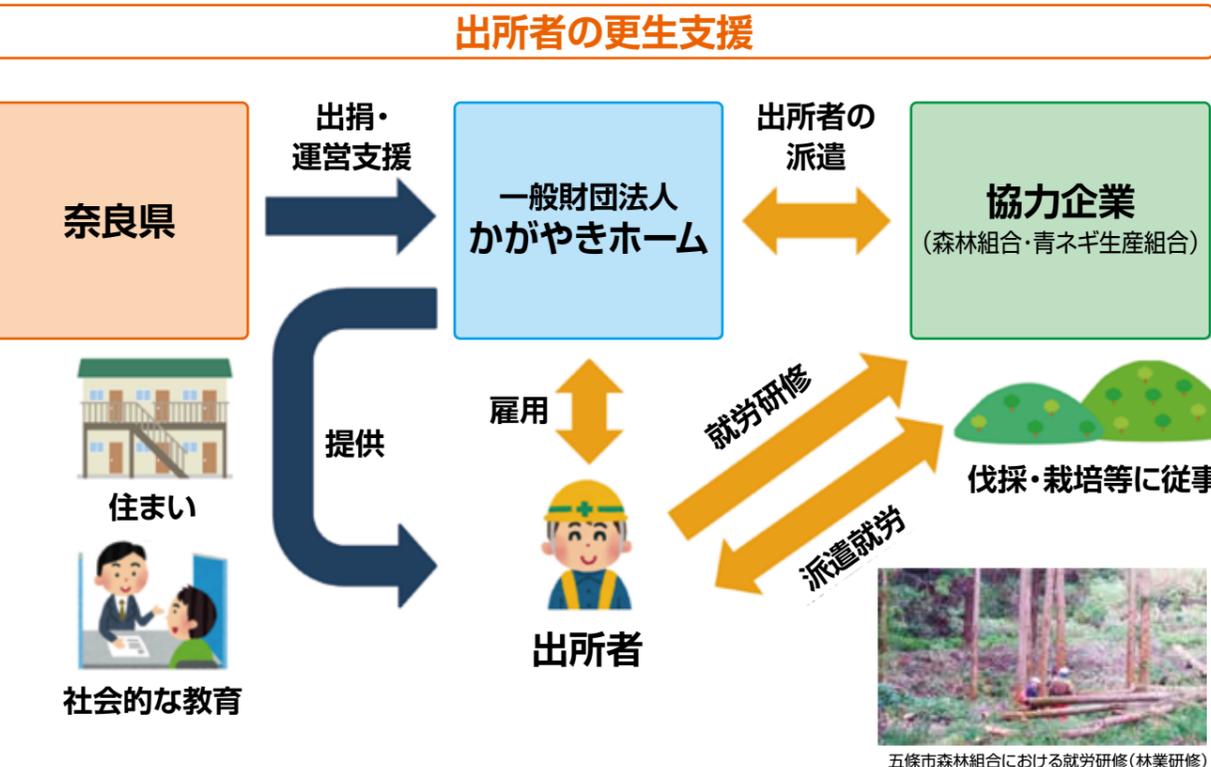
奈良県教育サミット

6. 「福祉の奈良モデル」の構築に向けた取組が進みました。

1 「奈良県人と人及び人と社会がつながり支え合う地域福祉の推進に関する条例(福祉の奈良モデル条例)」を令和4年3月に制定しました。



2 「奈良県更生支援の推進に関する条例」を令和2年4月に施行し、出所者を雇用する財団(かがやきホーム)を令和2年7月に設立(全国初)しました。



7. 農業の振興が進み、森林環境管理制度ができました。

1 奈良県のユニークな取り組み・特定農業振興ゾーンが10地区になりました。

農地集積・集団化、
区画の大規模化

多様な担い手の
確保

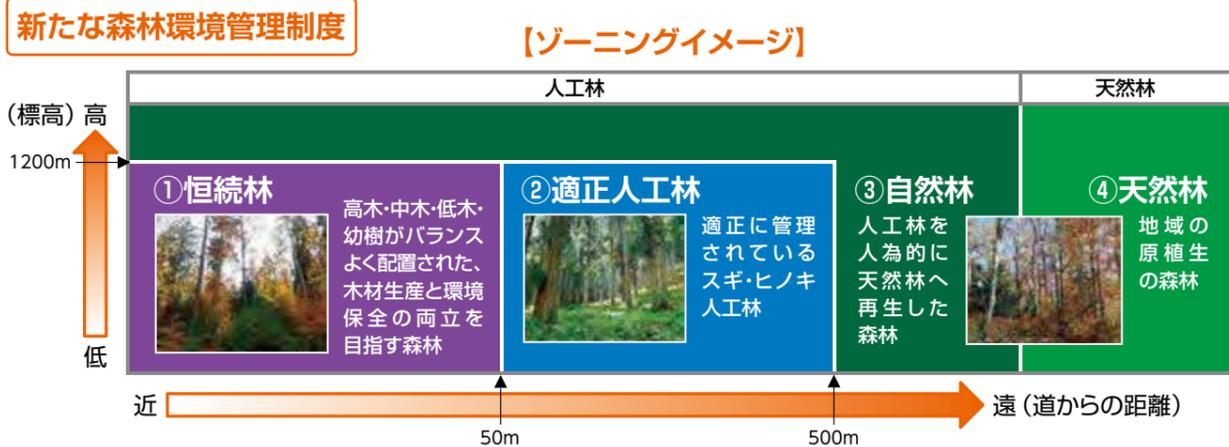


高収益作物の
転換

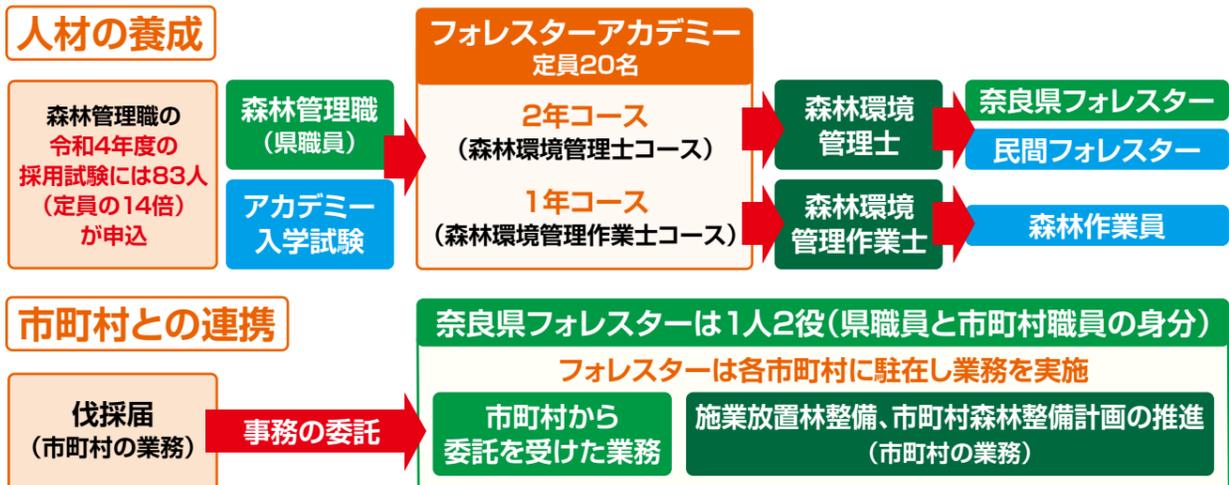
設備・機械の
整備

市町村名	地区名	テーマ	主な取組
① 広陵町	寺戸	イチゴの振興	新規就農促進
② 広陵町	百済川向	茄子の振興	区画の大規模化等集落営農の組織化、法人化
③ 川西町	下永東城	結露ネブカ等の振興	機械化栽培作業の実証
④ 田原本町	法貴寺	イチゴ等の振興	かんがい施設の整備
⑤ 田原本町	八田	茄子、トマト等の振興	排水対策の実証
⑥ 五條市	丹原	青ネギの振興	区画の大規模化等集落営農の組織化、法人化
⑦ 宇陀市	伊那佐東部	有機野菜、花き等の振興	園芸施設、かんがい施設の整備
⑧ 平群町	上庄・梨本	イチゴの振興	園芸施設、かんがい施設の整備
⑨ 大和郡山市	三橋	大和丸なすの振興	販路多様化、農作業環境改善
⑩ 宇陀市	大字院北西部	施設軟弱野菜、祝だいこん等の振興	かんがい施設の整備

2 スイスの森林管理制度を参考にした条例を令和2年4月に施行しました。



3 県フォレスターが森林を管理します。令和3年4月に開校した奈良県フォレスターアカデミーで人材を養成し、令和5年度から、市町村へ配置する予定です。



8. 幹線道路の整備が進みました。

1 中和幹線が30年ぶりに、平成24年3月に全線開通しました。



2 京奈和自動車道

平成18年4月の郡山南IC～橿原北IC(7.8km)開通から、順次整備が進み、直近では、平成29年8月に御所南IC～五條北IC(7.2km)が開通しました。



9. 災害対応に尽力してきました。

1 平成23年に発生した紀伊半島大水害からの復旧・復興に取り組みました。



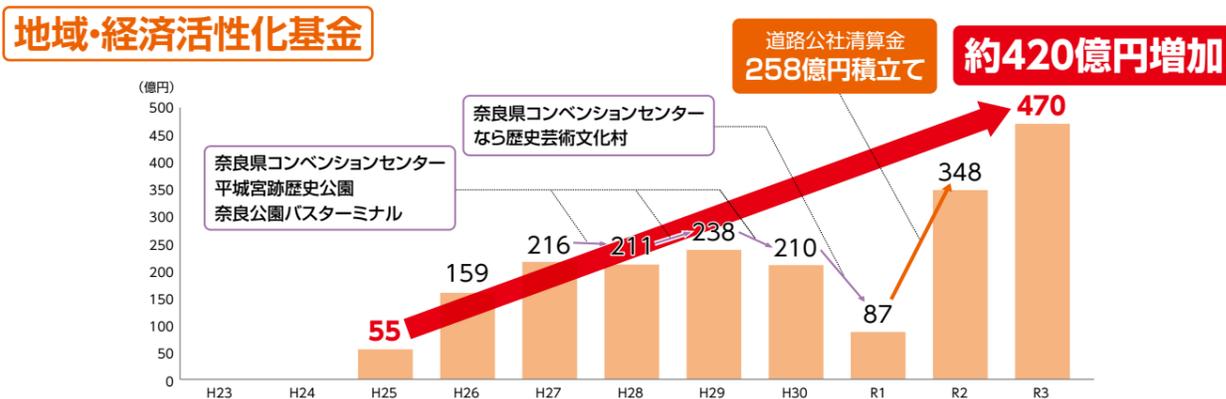
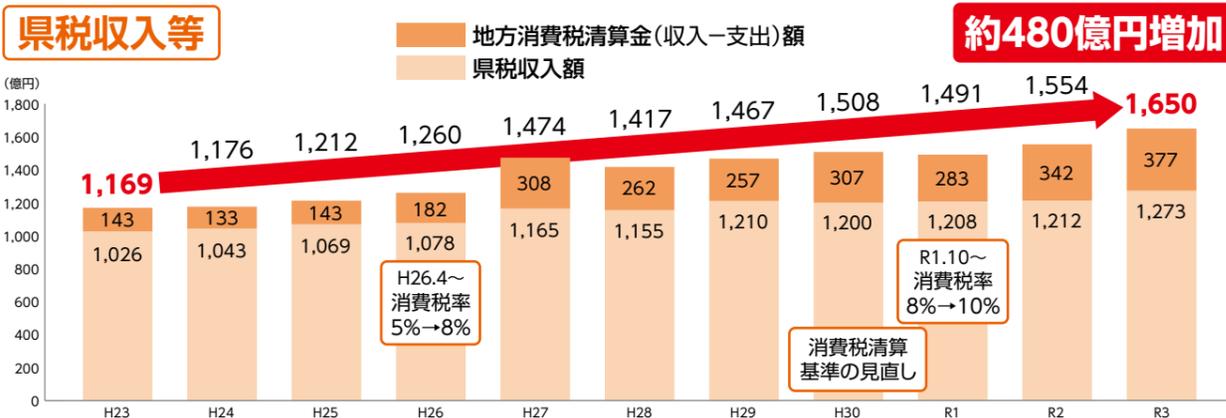
復旧の状況



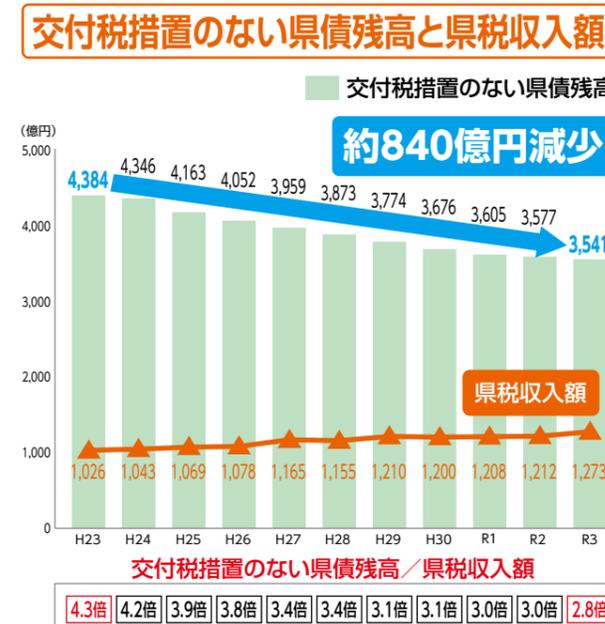
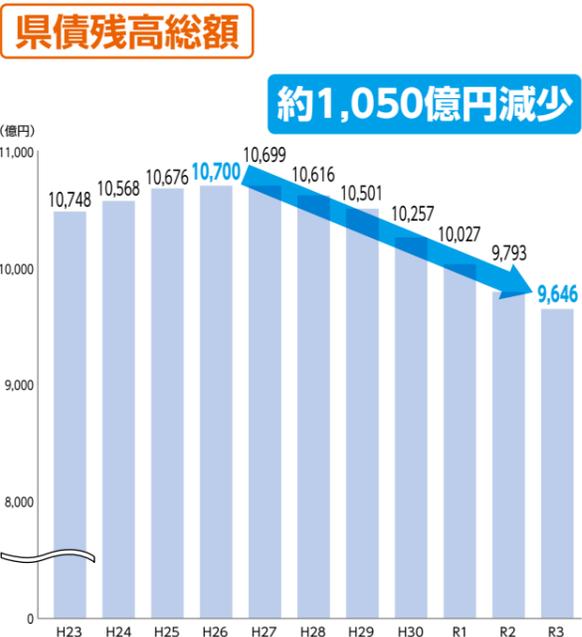
復興住宅(十津川村猿飼(高森地区))

10. 財政の状況が良くなりました。

1 県税収入等や基金の積立では好調です。



2 県債残高も着実に減少してきています。



II 成果の実現が間近に見えてきているもの

多方面の方々のご協力とご支援により、奈良県をより豊かで楽しみ多いものにしていく計画がいよいよ現実のものになろうとしています。

1. 子供の成長段階に応じた遊び・スポーツが楽しめる
まほろば健康パークは、PFI方式により
令和4年度事業者募集、令和9年度開園予定です。

機能強化エリア(導入施設のイメージ)

※施設内容・配置は事業者提案により変更となる可能性があります。



2. 卸売機能の効率化と華やかな賑わいの創出を
一体的に行う**中央卸売市場**の再整備は、
令和5年度に事業発注する予定です。



高機能化・効率化された市場施設
(B to B)

食とともに文化・スポーツを楽しむ複合施設
(B to C)

中央卸売市場再整備(イメージ)

3. 防災機能を有し、県産農産物直売所、レストラン、
カフェ、バスターミナルを備えた**中町「道の駅」**は
令和5年度末にオープン予定です。

●中町「道の駅」の主な機能

地元農産物の直売所などの地域振興機能

公共交通の結節点機能

地域観光のゲートウェイ機能

防災機能



一般駐車場から西側の眺望を望む(イメージ)



県産材を活用した内装(イメージ)



オープンテラス・芝生広場(イメージ)



防災倉庫(イメージ)

4. 平城宮跡の歴史体験学習館は令和8年度、南側地区の整備は令和7年度の完成を目指しています。

令和8年度の完成を目指す



朱雀大路東側地区 歴史体験学習館整備(イメージ)

令和7年度の完成を目指す



平城宮跡南側地区整備(イメージ)



平城宮跡

5. 医大の新キャンパス(先行整備分)は、令和7年度中の移転・開学に向けて工事が始まりました。



医大 新キャンパス先行整備(イメージ)

6. 県域水道一体化に向けて、令和7年度の市町村水道と県営水道の事業統合を目指しています。

施設整備

- 水需要の将来見通しに応じた施設機能の確保、施設の老朽化対策の計画的な推進・バックアップ機能の確保等を推進
- コスト削減と国の交付金・県の財政支援の有効活用

水道料金

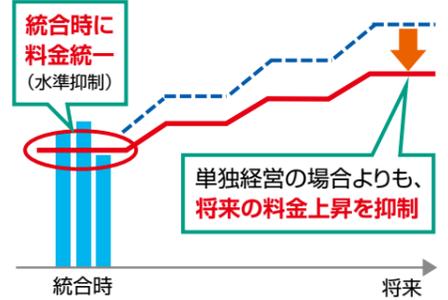
- 統合時に料金統一
- 投資の抑制・国の交付金・県の財政支援の活用
- 将来の料金上昇を抑制

運営体制

- 業務の標準化・システム化、民間委託化
- 県域で適正に人員配置

主なスケジュール

令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
<ul style="list-style-type: none"> ●基本計画の策定 ●基本協定の締結 	<ul style="list-style-type: none"> ●事業統合の準備 	<ul style="list-style-type: none"> ●企業団の設立 ●水道事業認可 	<ul style="list-style-type: none"> ●事業統合



一体化後10年間の国・県の財政支援

広域化事業

直結配水施設や連絡管の整備等、県域での施設整備

国交付金 1/3	県支援 1/3	企業団負担 1/3
-------------	------------	--------------

運営基盤強化等事業

市町村の配水管等の更新

国交付金 1/3	県支援 1/3	企業団負担 1/3
-------------	------------	--------------

7. みつえ高原牧場の一部を活用し、令和10年度オープンを目指して、畜産団地の整備を進めています。



現在のみつえ高原牧場

8. 「飛鳥・藤原」の世界遺産登録は、令和5年度に推薦書をユネスコへ提出し、イコモスによる現地調査・勧告を経て、令和7年に世界遺産として登録されるよう準備を進めています。



特別史跡 藤原宮跡と大和三山:耳成山(橿原市)

登録に向けた想定スケジュール

- 令和2年3月 推薦書(素案)提出①
- 令和3年3月 推薦書(素案)提出②
- 令和4年6月 推薦書書類等の提出③
- ※「佐渡島の金山」の推薦書再提出に伴い、1年後の再提出
- 令和5年中 文化審議会審議 推薦候補選定**
- 令和5年中 推薦書(正式版:英文)作成
- 令和6年2月 ユネスコへ推薦書提出
- 令和6年9月 イコモス現地調査 修正対応
視察対応
- 令和7年5月 イコモス勧告 勧告対応
- 令和7年7月 世界遺産委員会登録審議 決定**

9. 奈良公園周辺に上質で環境に優しいホテルが建設中です。

奈良公園ホテル



吉城園周辺の整備(イメージ)



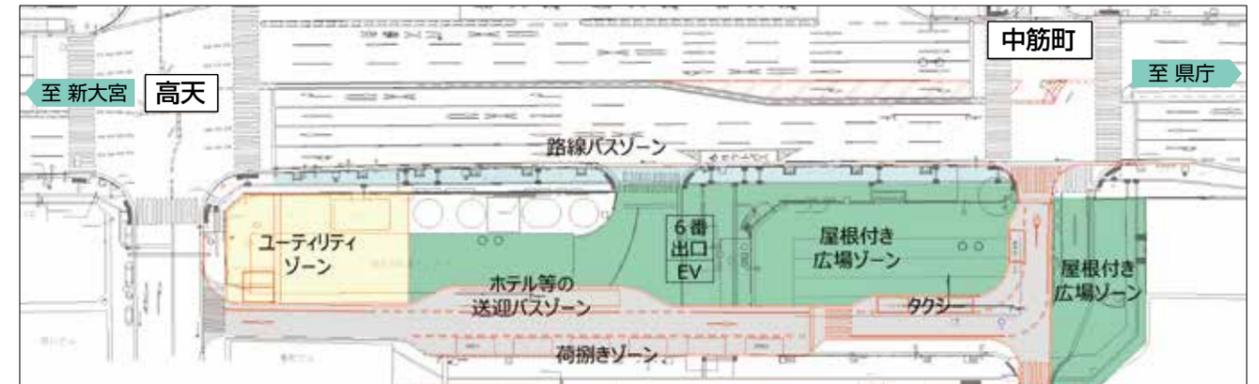
旧奈良監獄ホテル



旧奈良監獄外観(法務省提供資料)

10. 近鉄奈良駅西口に広場を設ける計画を進めています。

整備イメージ



11. 奈良県文化会館は、音楽系を軸とした多彩な舞台芸術の殿堂として、令和8年度中のリニューアルオープンを目指して整備を進めています。



奈良県文化会館の外観(イメージ)



奈良県文化会館の館内(イメージ)

12. 京奈和自動車道(仮称)橿原JCT大阪方面接続ランプは令和8年春に開通予定です。



京奈和自動車道
大和御所道路(橿原市新堂町)
橿原北IC~橿原高田IC間の
高架橋の上下部工事の状況

13. 奈良新『都』づくり戦略推進に資する奈良県独自のユニークな条例の制定を進めています。

令和4年3月
制定済条例

条例名	分野	参照
1 地域における多様な人材の育成、就労の促進及び再就職の支援に関する条例	雇用	P6
2 奈良っ子はぐくみ条例	子育て	P11
3 奈良県人と人及び人と社会がつながり支え合う地域福祉の推進に関する条例	福祉	P12
4 奈良県美しい南部・東部地域を県と市町村が協働して振興を図る条例	地域振興	P42



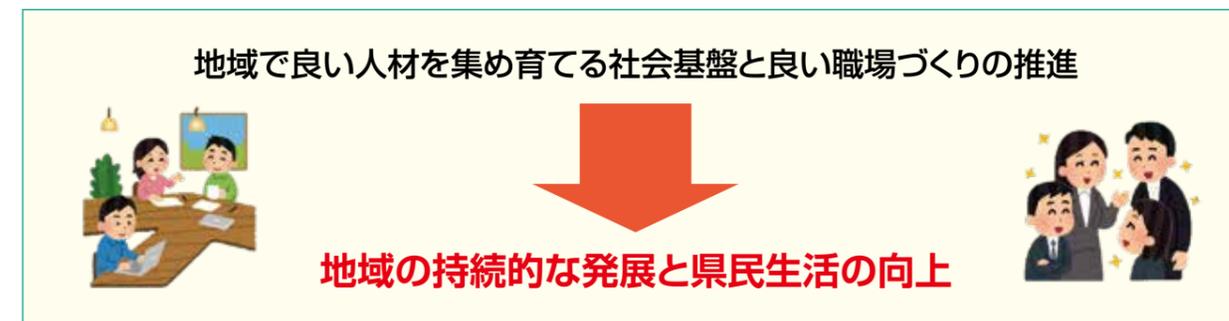
令和5年3月
制定予定条例

条例名(仮称)	分野
1 地域において良い人材を集め育成することを旨とした良い職場づくりの推進に関する条例	働き方
2 地域デジタル社会の構築により県民の幸福な生活の実現と地域の持続的な発展を図る条例	デジタル
3 誰もが、いつでも、どこでもスポーツに親しめる地域づくりの推進に関する条例	スポーツ
4 奈良県高齢者が社会参加し、いきいきと活動することを促進して活力ある長寿社会の実現を図る条例	健康
5 奈良県障害のある人及びその家族等に生涯にわたりつながり続ける障害福祉の推進に関する条例	福祉
6 新しい時代の地域資本主義に基づき活力ある持続可能な経済と社会の実現を図る条例	経済・産業
7 土地の適正な管理、合理的な利用及びより効果的な利用を実現して、地域経済の発展及び生活の向上を図る条例	土地利用

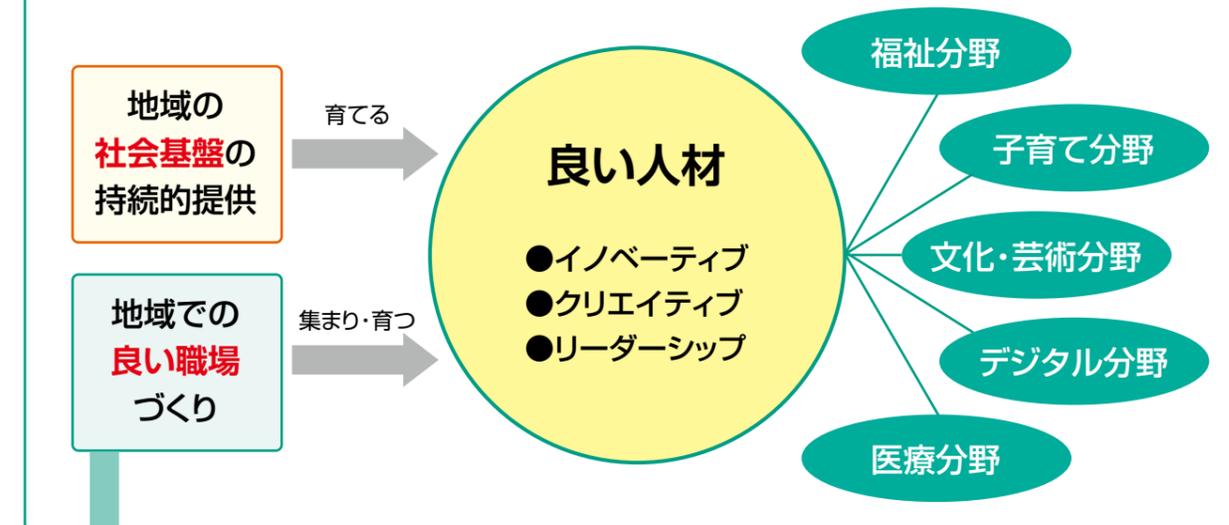


地域において良い人材を集め育成することを目指した良い職場づくりの推進に関する条例

働く人がやりがいを持って、健康でいきいきと働くことができる良い職場づくりを推進します。



「良い人材」が集まり・育てるには、**社会基盤**と**良い職場**が重要



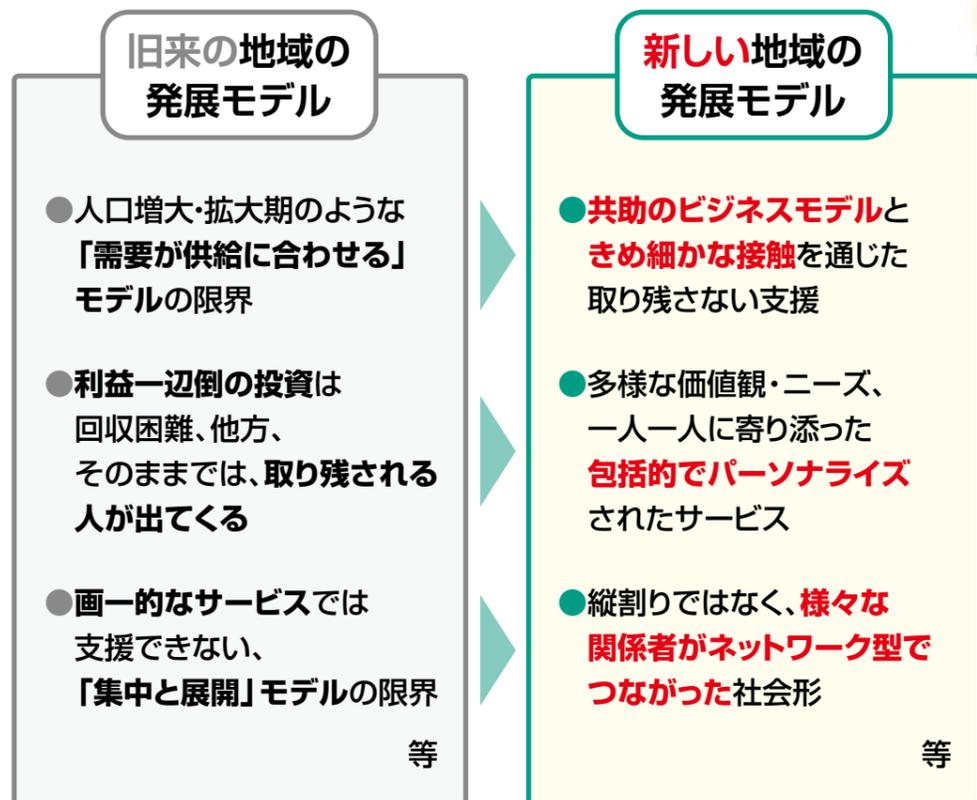
地域において良い人材を集め育成することを目指した良い職場づくりの推進に関する条例

- 働き方改革をはじめとする組織人材マネジメントが良くなる
- オフィス環境の整備など勤務環境が良くなる

県が率先して、**良い職場づくり**に取り組み、**地域へと展開**

地域デジタル社会の構築により県民の幸福な生活の実現と地域の持続的な発展を図る条例

条例で目指す「地域デジタル社会」の構築のビジョン



活用

デジタルの特性・強みを活かした「できる化」

デジタル化の特性・強み

- つながる (ネットワーク化・横串化)
- 自動で処理できる (効率的な大量処理、人手かけない)
- データを活かした、きめ細かさ (パーソナライズ)

デジタル化の影響・課題

- 要求水準の高度化 (より効率的に、よりきめ細かに)
- 人と機械の関係の変化 (人間が担う領域の変化)
- デジタル格差
- グローバルな標準化

対応

デジタル化がもたらす変化への的確な対応

県民の幸福な生活の実現と地域の持続的な発展

誰もが、いつでも、どこでもスポーツに親しめる地域づくりの推進に関する条例

「生き生きと安心して健やかに暮らせる奈良県」を目指します。

誰もが



奈良マラソン2022

いつでも



橿原公苑陸上競技場ナイトラン

どこでも



少年少女野球教室



パラリンピックタレント発掘



身近な場所での運動推進事業



身近な場所での運動推進事業

奈良県高齢者が社会参加し、いきいきと活動することを促進して活力ある長寿社会の実現を図る条例

高齢者一人ひとりの健康長寿と心豊かで満たされた人生の実現を目指します。

施策展開の柱

- 高齢者が気軽に参加 活動の場・機会の創造・提供
- 高齢者の社会参加とその環境づくりへ → 重要性を県民に啓発の協力
- 人材及び関係団体等の育成・支援



すこやか長寿センターにおけるマッチングの充実



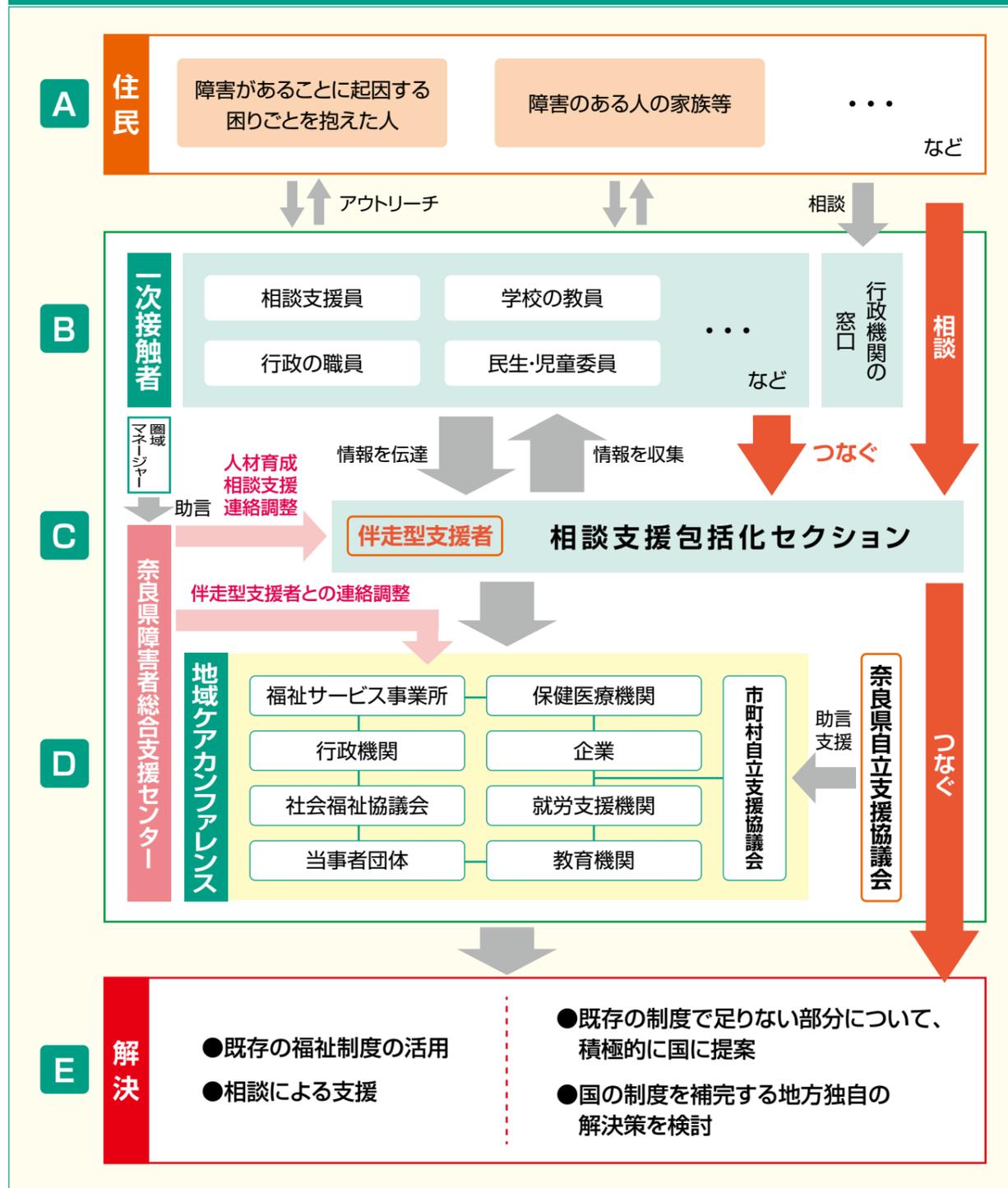
地域や世代を越えた交流の場の創造 (県老人クラブ連合会が新たに行うeスポーツ体験会の実施を支援)

奈良県障害のある人及びその家族等に生涯にわたり つながり続ける障害福祉の推進に関する条例

障害福祉分野における支援のより一層の推進を図ります。

●障害福祉に関する支援体制の充実

困りごとを抱える障害のある人及びその家族等に寄り添い、“伴走”する意識



新しい時代の地域資本主義に基づき活力ある 持続可能な経済と社会の実現を図る条例

「商ってよし」「働いてよし」「世間によし」の社会の実現を目指します。

「成長一辺倒」の従来型の資本主義から脱却し、本県発の「新しい時代の地域資本主義」の下で、県民の豊かな暮らしにつながる持続可能な経済社会システムを構築

- 短期的な利益の追求から長期的な視点への転換…「未来」を見る
 - 利己的な視点から公共的な利益への志向…「他者」を思いやる
- 新しい時代の地域資本主義

条例が目指す社会 ●社会全体が「未来」を見る、「他者」を思いやる視点に立つ
●事業活動の利益が働く人への還元や地域への貢献につながり、持続的な発展を実現



土地の適正な管理、合理的な利用及びより効果的な利用の 実現により地域経済の発展及び生活の向上を図る条例

土地の適正な管理、合理的な利用及びより効果的な利用に関する施策を総合的かつ計画的に推進します。

- ①適正な管理**
 - 周辺住民の生命、身体及び財産への危害の発生を防止
 - 周辺地域の生活環境等への悪影響の発生を防止
- ②合理的な利用**
 - 地域経済の発展、安心して快適に暮らすことができる地域社会の実現
 - 地域の諸条件に応じて、土地の効用を持続的に発揮
- ③より効果的な利用**
 - より高い効用の発揮が見込まれる土地で、若者の雇用やにぎわいの創出等を通じて地域の持続的な発展を実現
 - 土地所有者、近隣住民の協力の下、土地の効用を更に発揮



御所IC周辺産業集積地形成事業

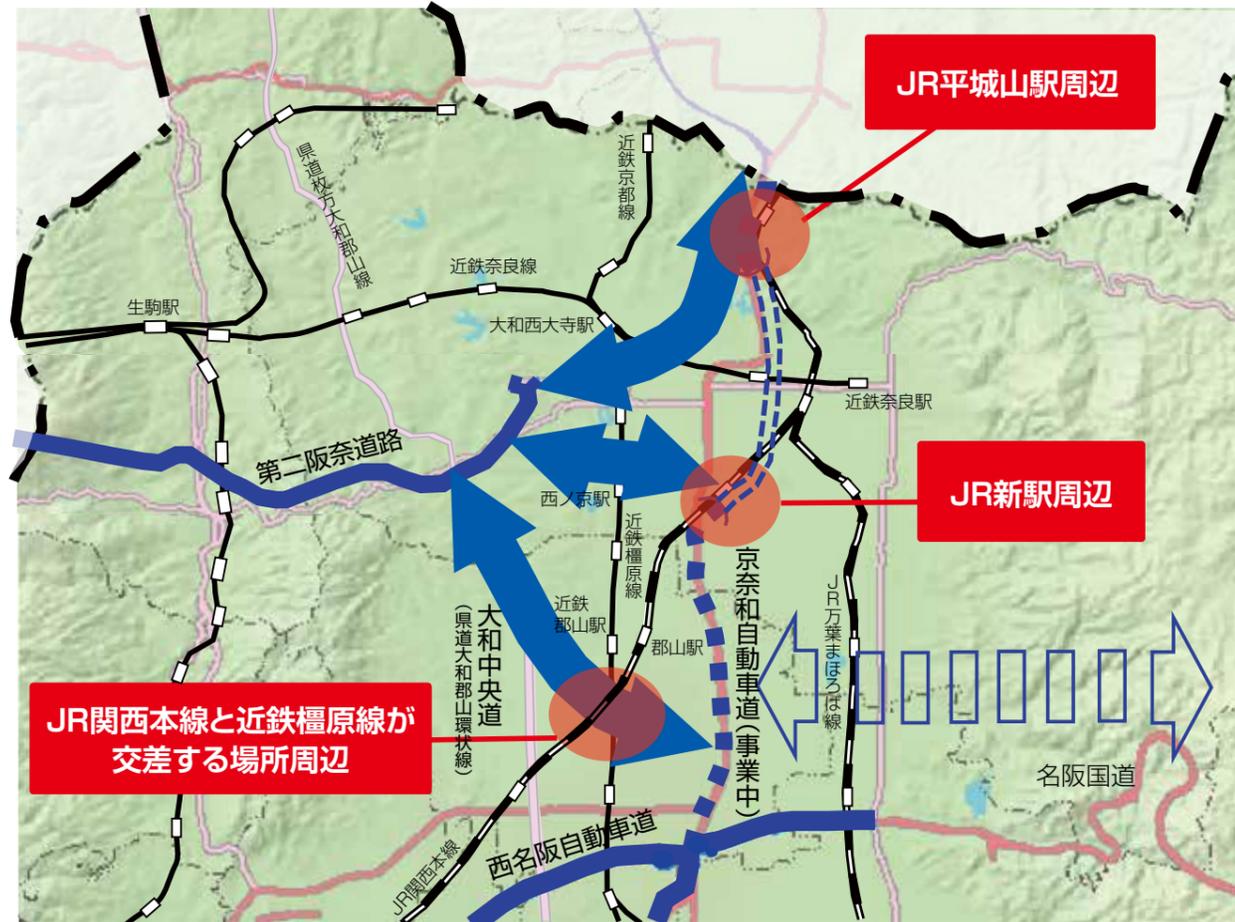
III これからの成果・実現が期待されるものも、たくさんあります。

より良い奈良県づくりの礎となる数々の計画が立案され、実行に移されています。未来の奈良が大きく飛躍するための第一歩が、すでに動き出しています。

1. リニア中央新幹線の「奈良市附近駅」位置の確定

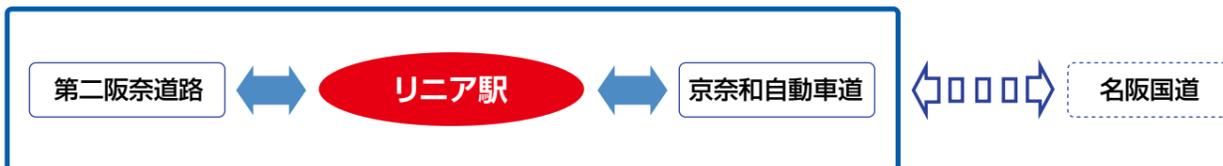
政府の「骨太の方針」に環境影響評価手続きが本年から開始することが明記

●事実上、下記の3つが「奈良市附近駅」の重点候補



※(一財)日本デジタル道路地図協会のデジタル道路地図を使用

リニア駅への直結アクセスと県内高速道路網の形成



●駅位置・ルート決定にあたっての重要な要素

<p>工事に直接関わる事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①用地取得の確実性 ②発生土活用先の確保 ③文化財・環境等の要配慮事項
<p>地域が大きな関心を有する事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ④交通結節性の確保 ⑤駅周辺のまちづくり ⑥地域全体の将来的な発展可能性

本県出身の新谷寅三郎運輸大臣が1973年(50年前)に基本計画に位置づけられた「奈良市附近駅」の位置、県内ルート決定に向けて、JR東海をはじめ関係者とも連携しながら、全力で取り組みます。

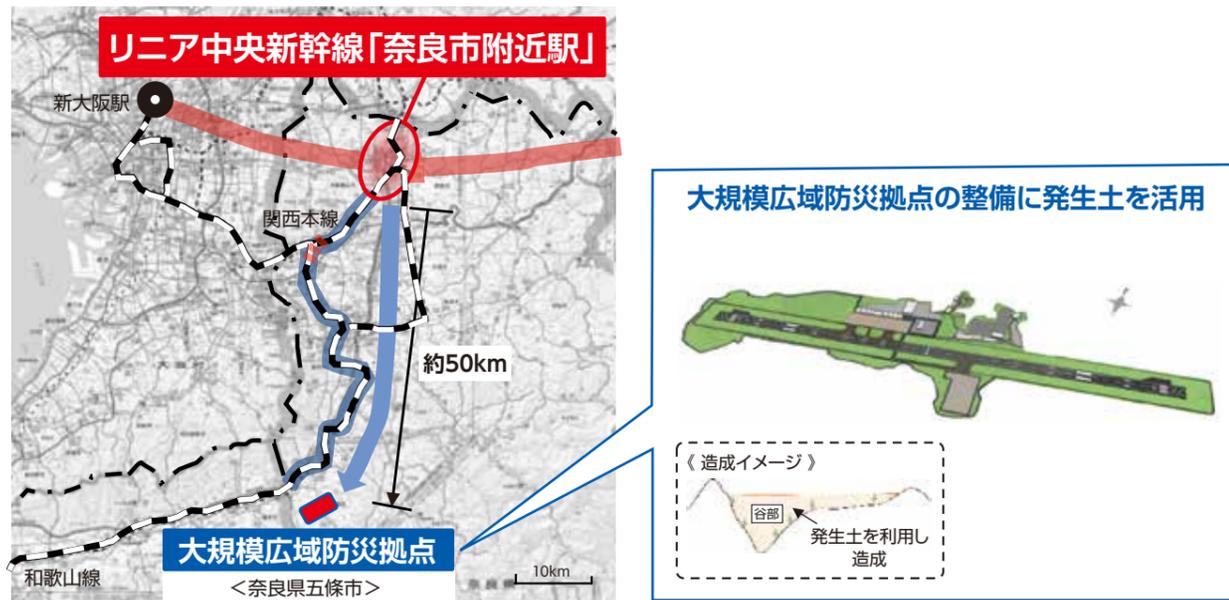


岸田総理と荒井知事・一見三重県知事との懇談 (令和4年6月17日)

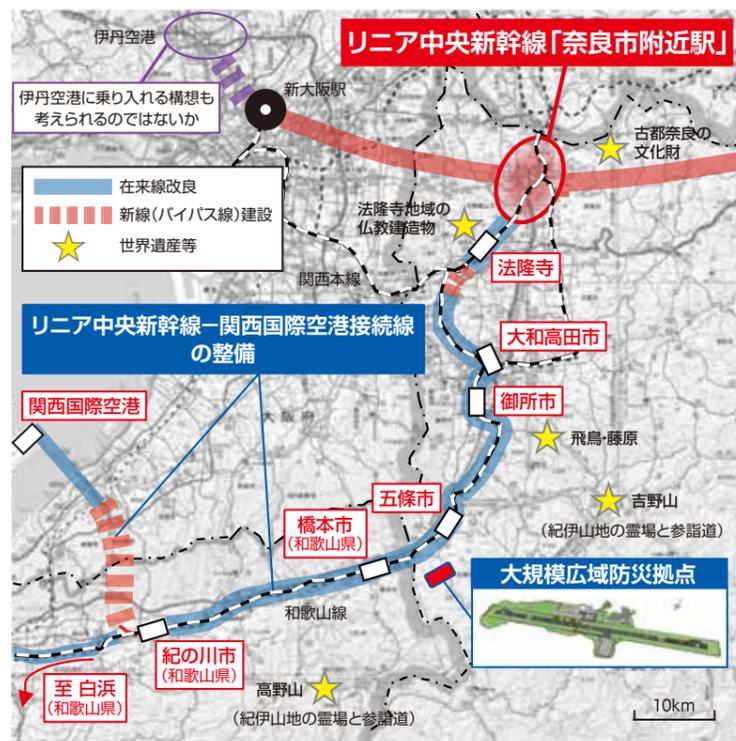


斎藤国土交通大臣へ名古屋以西区間の整備促進を要望 (令和4年10月11日)

2. 大規模広域防災拠点整備に リニア建設に伴う発生土を活用



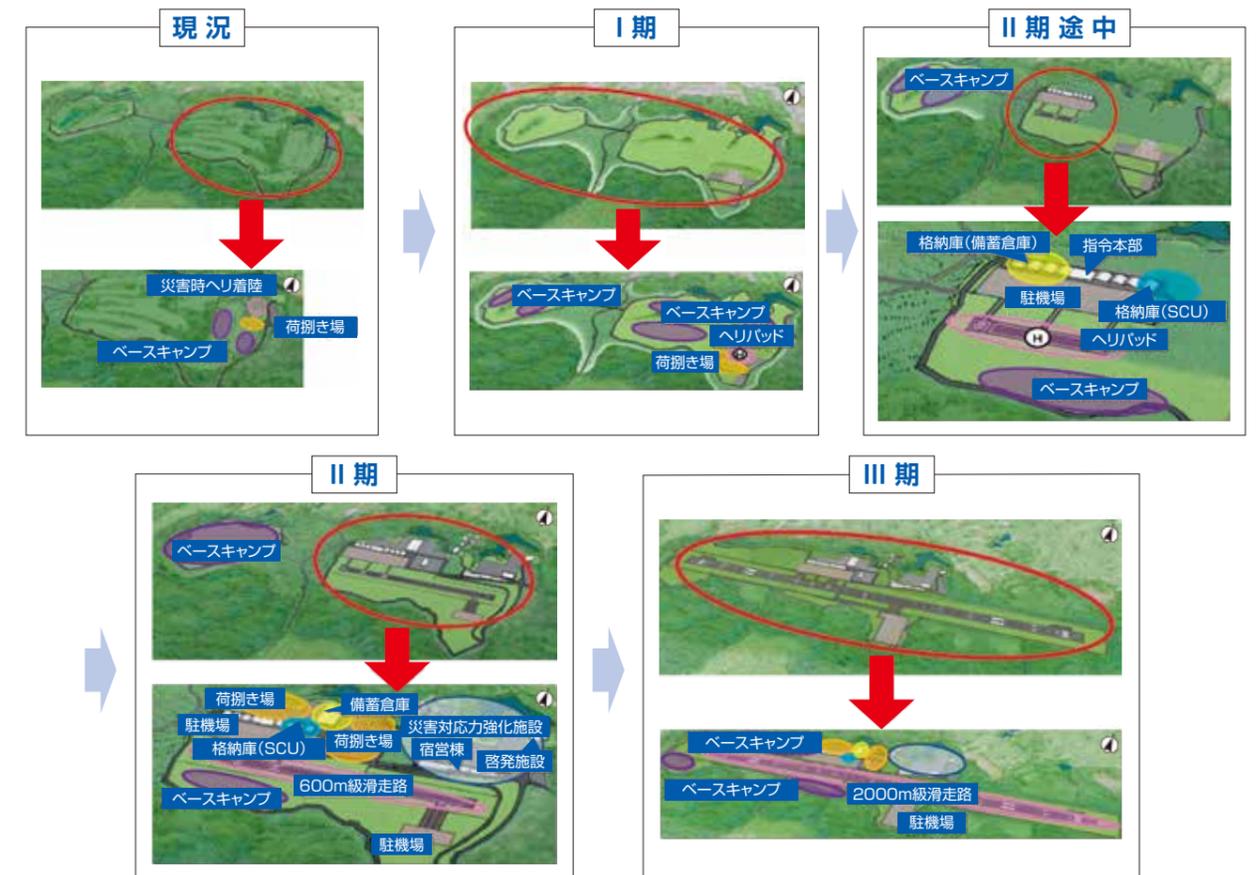
3. リニアの整備効果を最大限活用 (鉄道との結節性・関西国際空港接続線等)



(参考イメージ) 時速160kmの特急

4. 「大規模広域防災拠点」の整備

- 防災拠点としての効果を早期に発現するため、段階的に整備します。
- 「現況、I期、II期途中、II期、III期」の5段階に分けて運用します。各段階に応じ災害時と平常時の利活用を図ることとし、現況から防災機能を発揮するようにします。



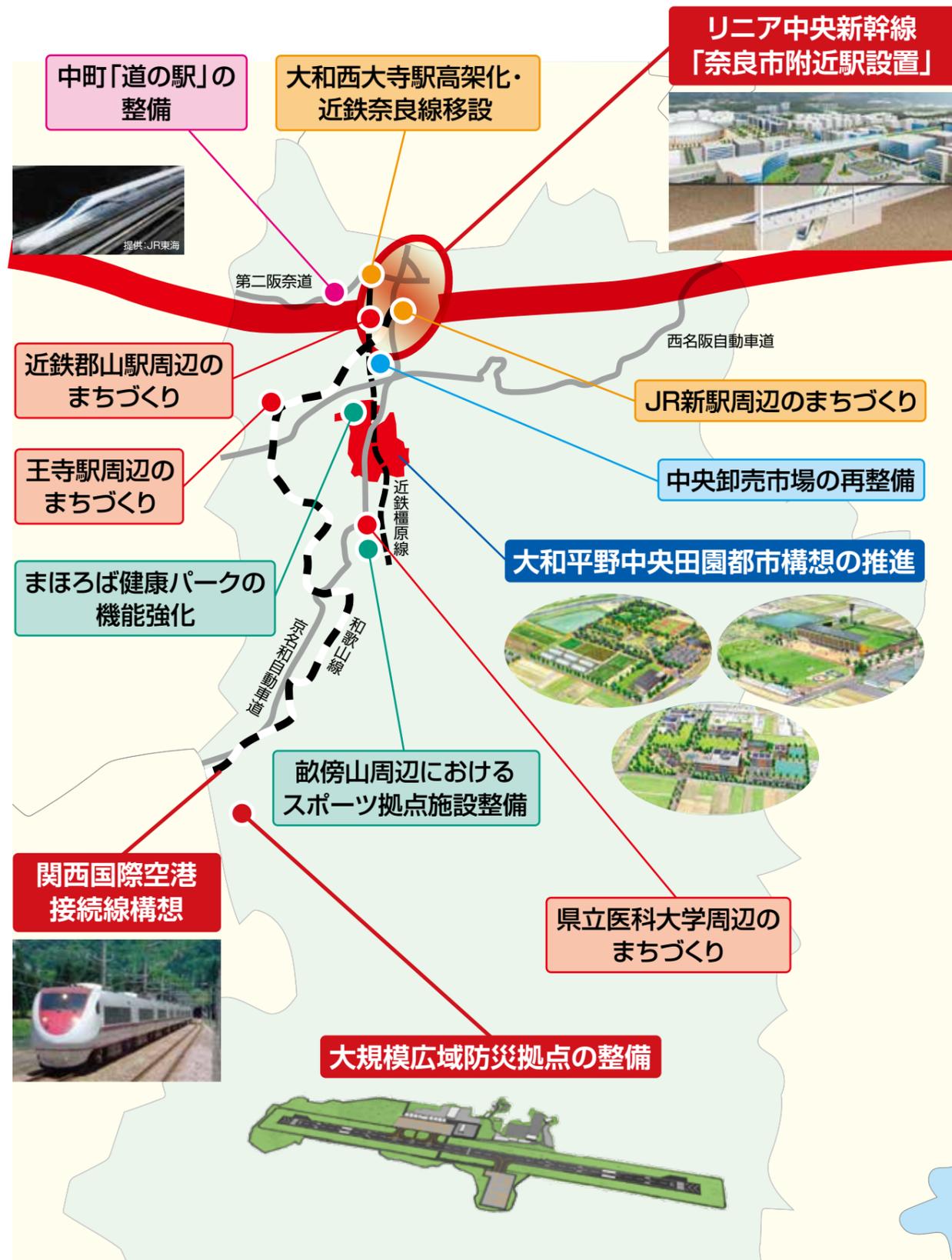
事業開始式(令和4年10月)



事業開始式 鉄入れ式

5. 「大和平野中央田園都市構想」の推進

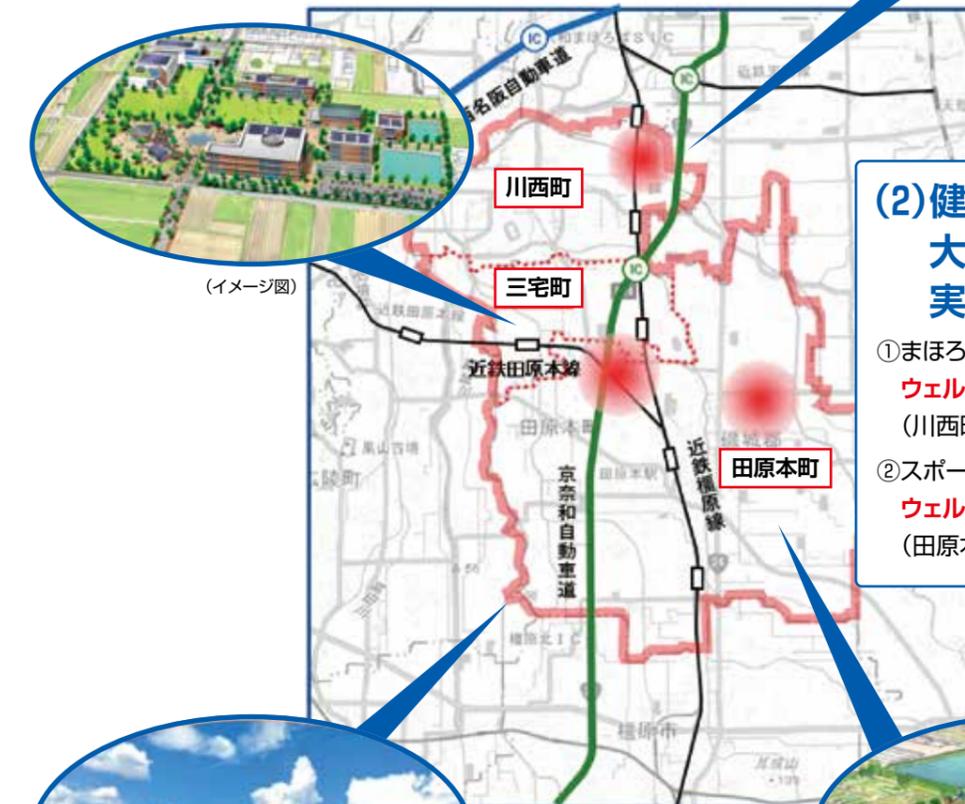
大和平野中央(磯城郡3町)での田園都市づくりを核にして、県政の飛躍的発展のきっかけをつくります。



●「デジタル田園都市」は、知的創造、健康長寿、デジタル活用が柱です。

(1) 知的な大和平野中央を創造する

(仮称)奈良県立工科大学とスタートアップヴィレッジ(三宅町 石見地区)



(2) 健康長寿の大和平野中央を実現する

- ①まほろば健康パークと連携した **ウェルネスタウン** (川西町 下永地区)
- ②スポーツ施設を核とした **ウェルネスタウン** (田原本町 阪手北・西井上地区)



(3) 大和平野中央にデジタル田園都市を建設する(場所未定)

6. 県立大学における理工系人材の育成

●(仮称)奈良県立工科大学設置

- 若年層の県内定着と県内産業の競争力向上、高い研究力・人材育成力を有する工学系大学を設置
- 大学院を先行設置(令和8年目標)、令和13年を目標に新キャンパスを整備し、学部を併設

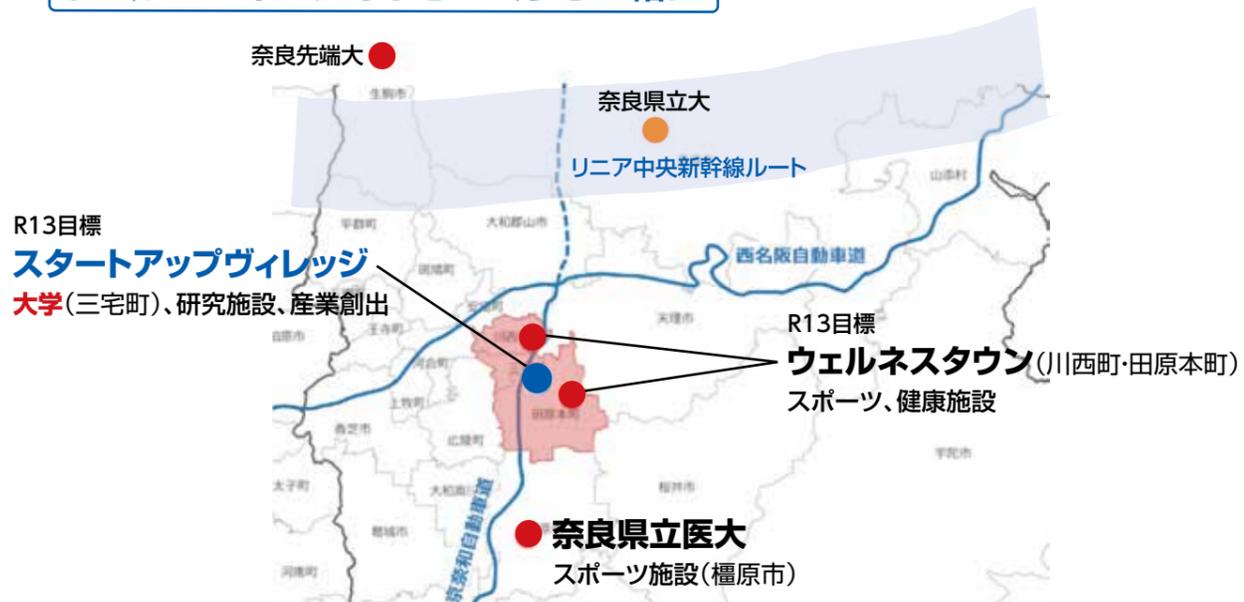


三宅町:(仮称)奈良県立工科大学とスタートアップヴィレッジ(イメージ)

●大学を核に産学官連携拠点を大和平野中央に構築

県内産業を支え、新たな産業を育成するため、日常的に知的な交流が生まれる拠点をづくります。
(スタートアップヴィレッジ)

ウェルビーイングなまちづくりも一緒に



7. 畝傍山周辺プロジェクト

畝傍山周辺において医大新キャンパス、近鉄新駅、橿原考古学研究所附属博物館などを活用、橿原公苑、橿原運動公園でスポーツ拠点施設整備や新たな文化ゾーンの形成を推進します。



8. コロナ対策

奈良県の新型コロナウイルスとの戦い方

感染防止と社会・経済活動の両立を目指します。

- ①エビデンス(証拠)に基づき対処すること
- ②重症者・死亡者を減らすことが最大目標

時短要請は効果不明

特徴的な取組

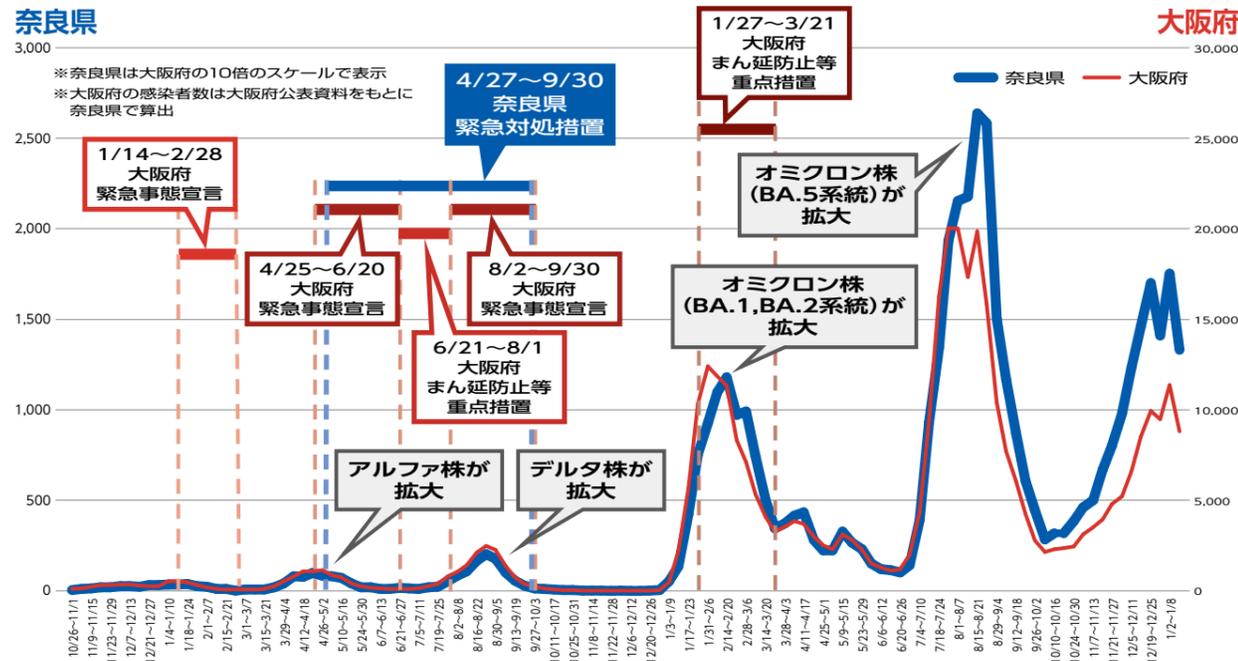
- ①日常生活の維持を重視した対策
- ②医療提供体制の確保・維持
- ③自宅待機者・療養者への支援

県独自の「療養先トリアージ基準」の確立

全国に先駆けて開始した無利子・無保証料などの制度融資により中小企業の資金繰りを支援
(これまでの融資実績:約3,700億円 1/16時点)

「いまなら。キャンペーン」を実施し、県内宿泊需要を喚起(R4予算:約69億円)

大阪府と奈良県の新規感染者数の推移 (発表週別の1日平均)
令和2年10月26日～令和5年1月15日



9. 子育て家庭への支援と就学前児童のはぐくみ

安心・安全な子どものはぐくみ活動の充実に取り組んでいます。

奈良っ子はぐくみ条例 (令和4年4月施行)

自尊心と利他心を幼少のころにはぐくむのが基本

●施策展開の4本柱

- 1.子どもの健やかなはぐくみ
- 2.経済的に困窮している子育て家庭に対する支援
- 3.困難な状況にある子どもに対する支援
- 4.子育て家庭に対する包括的な支援体制



子どもの通学通園路

市町村の役割が大きくなりました。



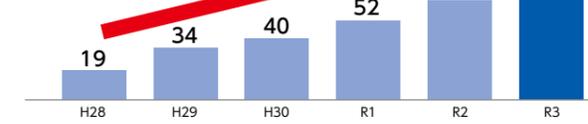
通学路合同点検への同行



奈良県通学路等安全対策推進会議の開催

こども食堂

●こども食堂数の推移 (各年度末設置数)



親子で賑わうこども食堂



こども食堂の様子

ひとり親家庭支援

- ひとり親コンシェルジュによるアウトリーチ型の相談体制を構築
- ひとり親家庭の生活等を支援するため、法律相談、親支援講座等を実施

児童虐待防止

●児童福祉司1人当たりの児童虐待相談対応件数*



オレンジリボンキャンペーン (児童虐待防止推進運動)

10. 女性の幸せ応援

令和3年3月には、第4次奈良県男女共同参画計画・第2次女性活躍推進計画「男女でつくる幸せあふれる奈良県計画」を策定し、奈良の女性の幸せを応援するプロジェクトを進めています。

女性の幸せ応援プロジェクト

- 若い世代 → 魅力的でキャリアアップできる職場づくり
- 子育て世代 → ワーク・ライフ・バランスのとれる働きやすい職場づくり

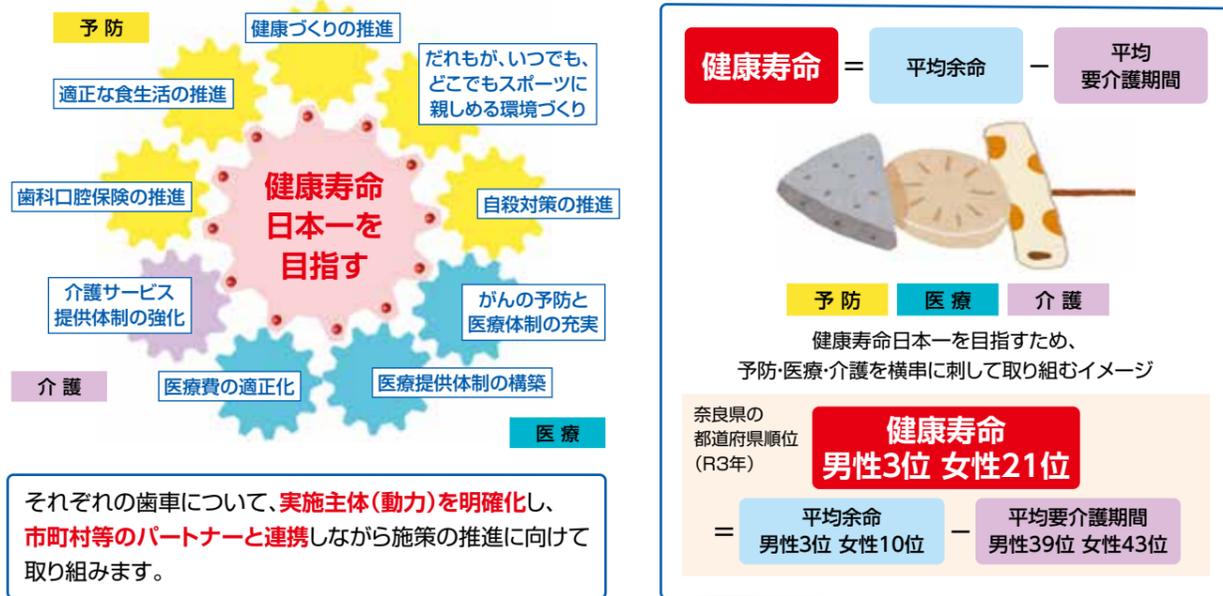
取組の状況

- 県内企業とともに進める女性活躍の推進
なら女性活躍推進倶楽部会員企業と連携した取組
- 働く女性や再就職を希望する女性の相談窓口の設置
- 支援団体と連携した起業を目指す女性の活躍支援



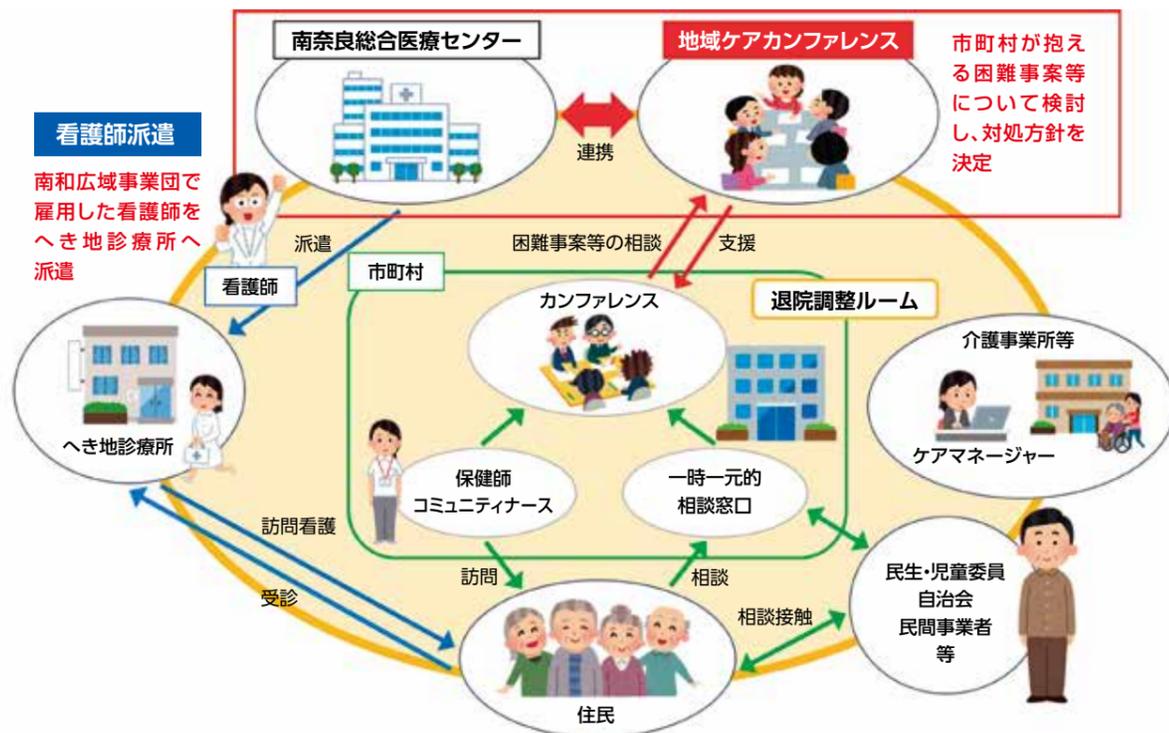
11. 健康長寿日本一を目指します

平成30年3月に中間見直しを行った「なら健康長寿基本計画」において、関連領域ごとに目標を設定して施策を実施しています。



12. 医療、包括ケア、健康推進、福祉を一体的に推進します

南和地域における、住民の困りごとへの新たな支援体制の仕組みづくりの構築を目指しています。



13. 実学、インターンシップを重視して教育を充実します

若者に実践的な能力・技能を身につけてもらい、社会人生活に直結する施策を県立高校を中心に推し進めます。

インターンシップ 学職接続を重視したキャリア教育の充実を図っていきます。



DMG森精機(株)による実習



自動車整備工場でのインターンシップ

実学

地域社会で即戦力となる**職業人材の育成等、実学教育の充実**に取り組んでいきます。



宇陀高校専攻科実習風景



関西電力(株)による現場実習

教育DX

教育課題の解決を図るため、情報通信技術を導入し、活用することで、**教育DXを推進**します。



オンラインで教員研修を実施する様子



端末を使用して授業を受ける様子

教育振興大綱

奈良県教育振興大綱に沿った取組を推進するため、**評価指標に基づく検証**を行います。



奈良県総合教育会議



奈良県教育サミット

16. 大和西大寺駅の高架化と近鉄奈良線の移設の推進

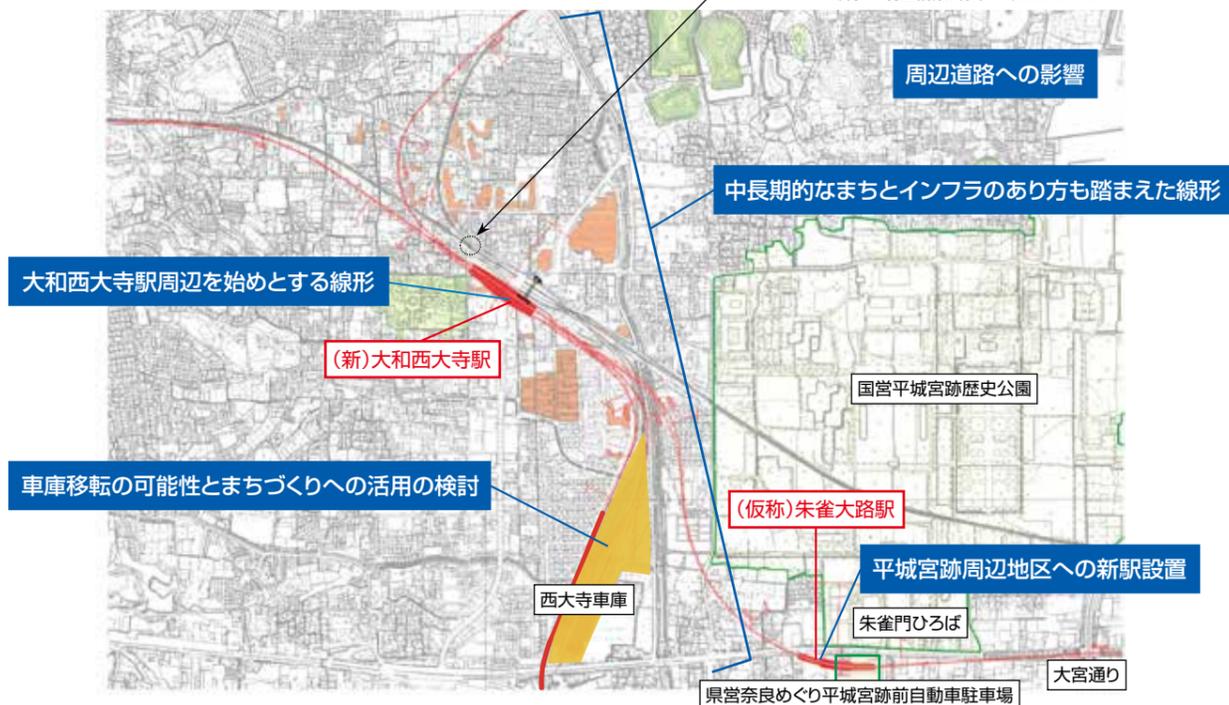
奈良県・奈良市・近鉄に加え、国にも参加いただく検討会において、以下の事項を始めとする具体化に向けた協議を実施中です。

- 大和西大寺駅周辺を始めとする線形
- 平城宮跡周辺地区への新駅設置
- 車庫移転の可能性とまちづくりへの活用の検討
- 周辺道路への影響 等

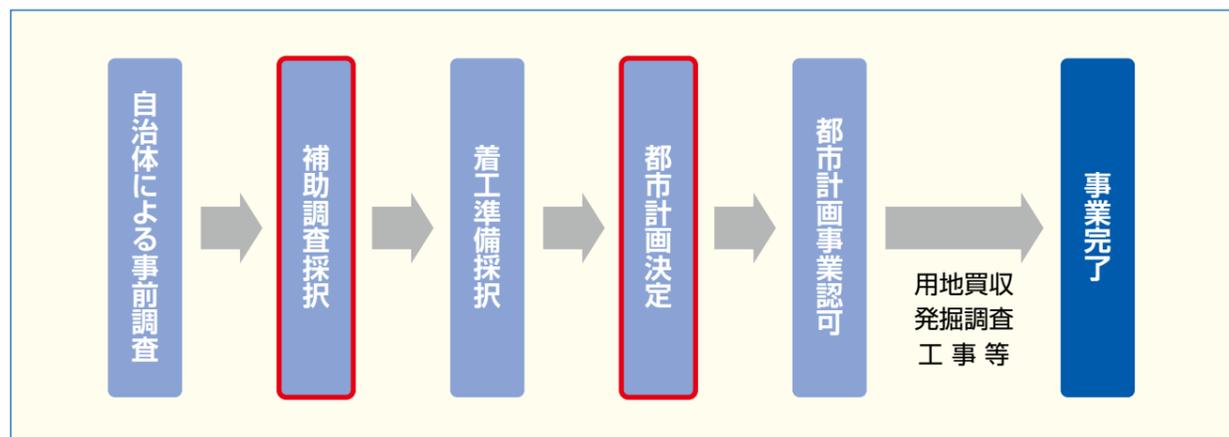
大和西大寺駅周辺地区の線形の一例



※新駅は別途協議。線形は確定していない。

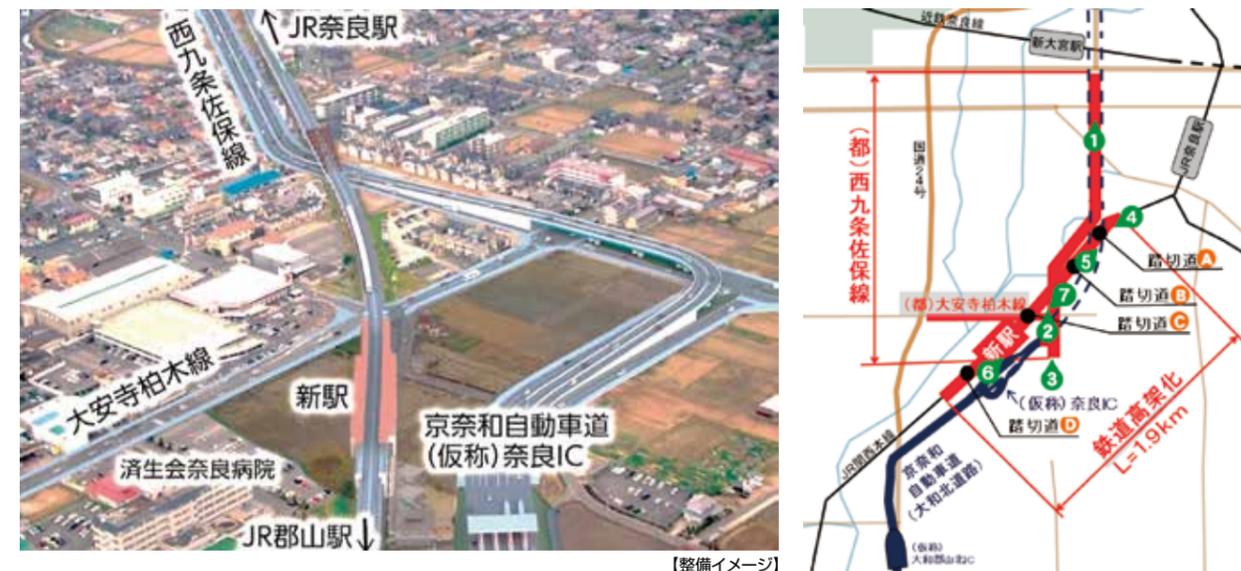


一般的な連続立体交差事業の流れと今後の進め方(想定)



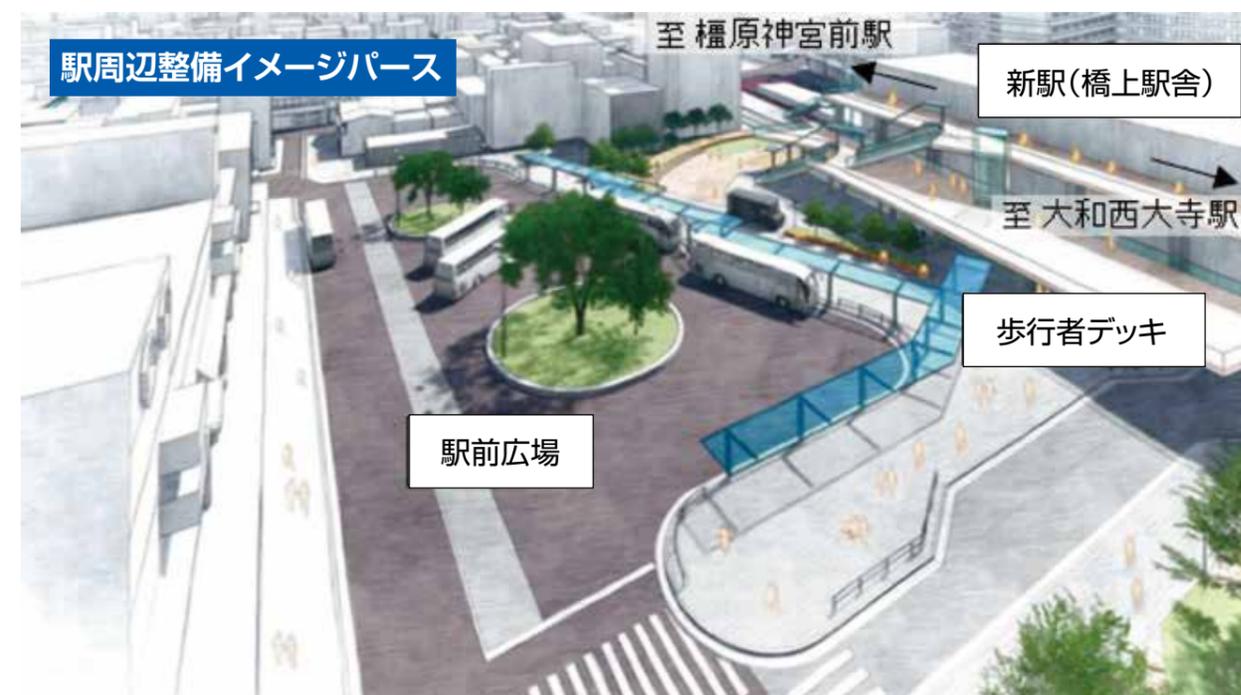
17. (仮称)奈良ICへのアクセス整備と交通結節点機能の強化

本県の南北軸としての骨格をなす京奈和自動車道大和北道路(仮称)奈良ICの整備を契機として、県として、「高い交通結節点機能を有する拠点の形成」「県の新たな玄関口にふさわしいまちづくり」の検討を進めています。



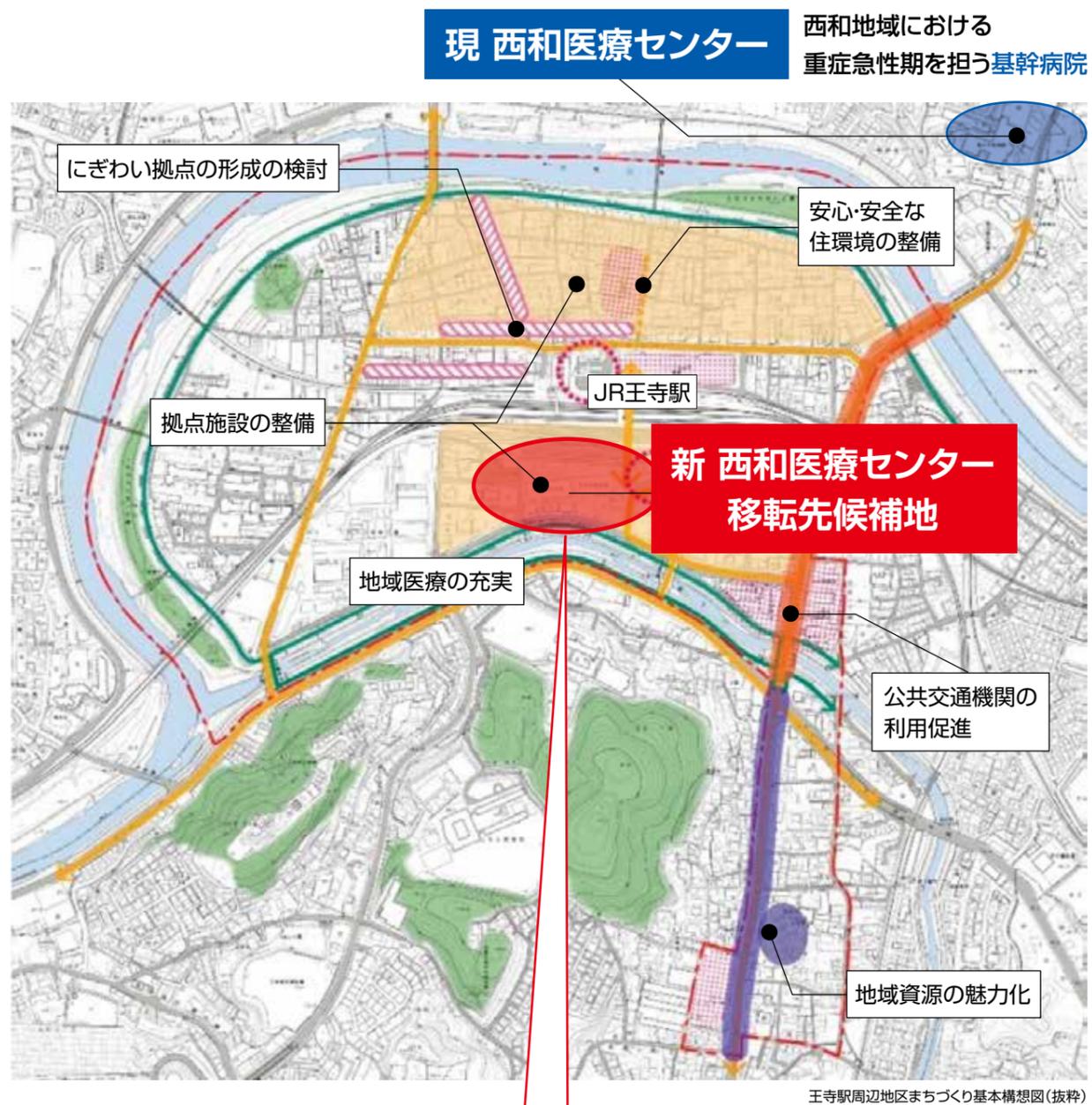
18. 近鉄郡山駅周辺のまちづくり

県、大和郡山市、近鉄の三者で近鉄郡山駅の移設や駅前広場の整備等に係る検討を進めています。駅の移設について、役割分担及び費用負担の枠組みを定める県・市・近鉄の三者協定を、近く締結すべく調整を進めています。



19. 西和医療センターの移転・再整備

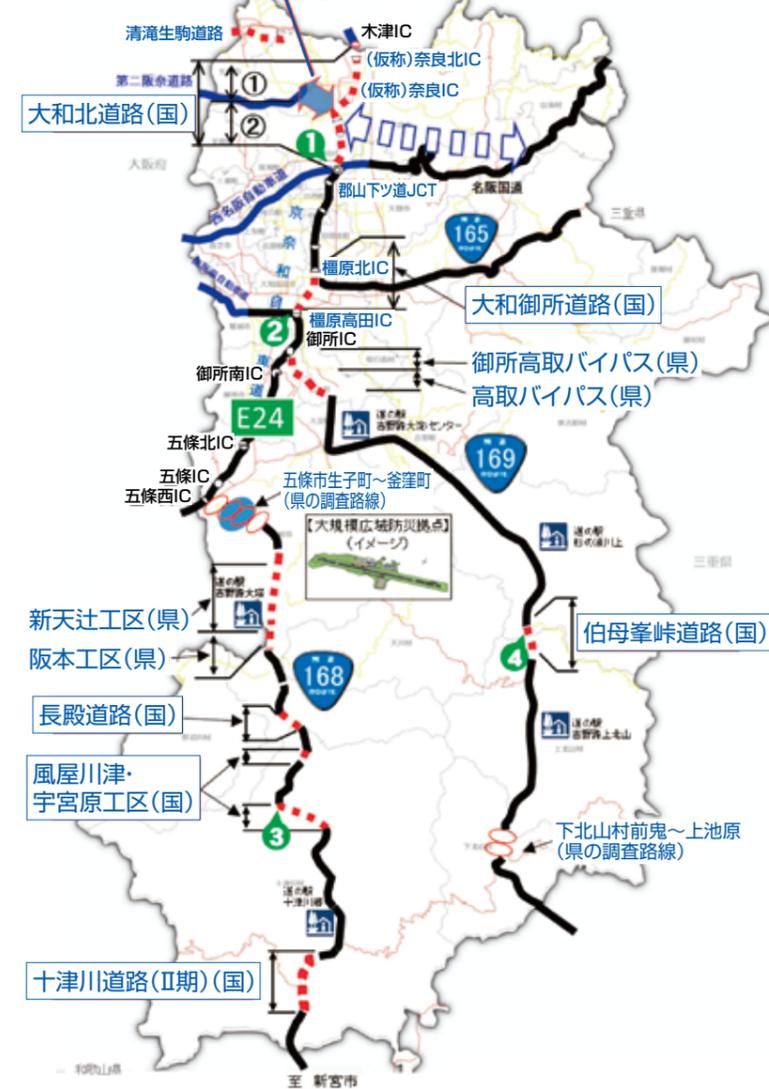
西和医療センターの移転・再整備など王寺駅周辺のまちづくりについて検討を進めています。



20. 広域道路ネットワーク整備の加速

- 高速道路のミッシングリンク・ボトルネックの解消、リニア駅への直結アクセスを検討・支援
- 紀伊半島アンカールートを始めとする広域道路ネットワークの整備を促進

リニアアクセスの高速道路ネットワークの形成 (第二阪奈道路⇔リニア駅⇔京奈和道)



- ① (仮称)奈良IC～郡山下ツ道 JCT
- ② (仮称)橿原JCT大阪方面接続ランプ 令和8年春開通予定
- ③ 風屋川津・宇宮原工区
- ④ 伯母峯峠道路



